

野球普及振興活動状況調査2020

【報告書】

＝調査対象：2019.1.1～2019.12.31 実施事業＝

日本野球協議会 普及・振興委員会

2021.4.12 作成

調査概要

□ 調査目的

各団体が行う野球普及振興活動の実態を統計的に把握することで、より多くの人々に野球に親しむ機会を効果的に提供する施策を検討し、野球界協働での普及振興活動の増進を図り、もって競技人口の維持・拡大に資することを目的とする。

□ 対象期間 2019年1月1日～2019年12月31日に行われた各団体における普及振興活動

□ 対象団体 日本野球協議会に参加するプロ・アマ中央団体、加盟団体、支部団体、チーム

□ 対象事業 普及振興活動分類(次頁参照)に記載する事業

□ 調査票 **【調査票Ⅰ】**＝イベントごとに参加者が異なる事業(参加者の継続性なし)
【調査票Ⅱ】＝特定人物に対して一定期間繰り返し行われる事業(参加者の継続性あり)
※詳細次項参照

□ 調査期間 **プロ関係団体、各球団:2020年6月～7月31日**
※独立リーグ、女子プロ野球、OBクラブ、選手会、名球会、世界少年野球推進財団を含む

アマチュア団体 2020年6月～8月31日
※支部団体(ブロック、都道府県、地区連盟等)、チームを含む

□ 調査方法 調査票配布による定量調査

□ 調査主管 日本野球協議会 普及・振興委員会

普及振興活動分類

分類定義

対象事業例

【調査票Ⅰ】= イベントごとに参加者が異なる事業(参加者の継続性なし)

①野球教室	主に野球経験者を対象とした技術指導等を行う活動	〇〇野球教室、キッズベースボールフェスティバル、大人のための野球教室、プロ野球選手会夢の向こうに、サマーキャンプ等
②体験活動	主に野球未経験者に対して野球に親しむ機会を提供することを目的とした体験活動 ※③を除く	こどもフェスティバル、ティーボール教室、ストラックアウト、親子ふれあいイベント、キャッチボール体験会等
③訪問活動	幼稚園、保育園における保育時間内、学校における授業時間内、福祉施設における通所時間内での交流を目的とした訪問活動	野球ふれあい訪問、小学校体育訪問、夢先生、マスコットと遊ぶ、給食交流会等
④授業研究会	学校体育におけるベースボール型授業普及のために教員や教員を志す者に対して行うデモ授業	ベースボール型授業研究会、教員向け勉強会、体育授業講習会等
⑤大会開催	自団体の加盟チームや登録選手以外を参加対象とした大会の開催(他のカテゴリーを対象にした大会)	プロ野球選手会キャッチボールクラシック、NPBガールズトーナメント(学童向け)、ジャイアンツカップ(少年向け)、車椅子ソフトボール大会(障害者向け)等
⑥観戦招待	自団体やチームが主催する試合への観戦招待	こどもデー、少年野球チーム招待、被災地招待、修学旅行招待等
⑦指導者講習会	指導者の資質向上を目的とした研修・講習会	コーチ養成講座、技術セミナー、トレーニング講習、障害予防講習、甲子園塾、記録講習、審判講習等
⑧地域貢献活動	清掃活動や地域スポーツイベント、お祭り、ボランティア活動など地域における社会貢献活動	マラソン大会、町民運動会、一日警察署長、農業体験、登校支援、市民まつり、クリーンアップ活動等
⑨その他(Ⅰ)	野球の普及振興の観点から実施されるもので上記のいずれにも当てはまらない活動	練習見学、メディカルチェック、肘検診、サマーキャンプ等

分類定義

対象事業例

【調査票Ⅱ】= 特定人物に対して一定期間繰り返し行われる事業(参加者の継続性あり)

⑩スクール事業	各団体や球団(チーム)が行う特定の人物に対して一定期間複数回行う技術向上を目的としたアカデミー等スクール事業	〇〇アカデミー、12球団ジュニアチーム、チアダンススクール等
⑪その他(Ⅱ)	野球の普及振興の観点から実施されるもので上記に当てはまらない参加継続性のある事業 ※詳細は調査票備考欄に記入のこと	指導者派遣、練習補助等

普及振興活動状況調査2020 集計表

※対象事業活動期間:2019年1月1日～12月31日

種別	所属分類	略称表記	団体名	調査票Ⅰ				調査票Ⅱ	
				全体数		地域貢献活動を除く(※¹)		事業数	人数
				事業数	人数	事業数	人数		
プロ野球 関係団体	01.日本野球機構	NPB	日本野球機構(12球団含む)	2,635	2,542,924	2,397	592,621	147	13,036
	02.日本独立リーグ野球機構	独立リーグ	球団(8)	735	2,574,292	489	84,817	5	139
	03.日本女子プロ野球機構	女子プロ	球団(4)	115	21,165	112	20,949	6	85
	04.日本プロ野球選手会	選手会	日本プロ野球選手会	111	19,458	111	29,458	0	0
	05.日本プロ野球OBクラブ	OBクラブ	全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)	100	18,628	100	18,628	1	25
	06.世界少年野球推進財団	WCBF	世界少年野球推進財団	20	1,494	20	1,494	0	0
	07.日本プロ野球名球会	名球会	日本プロ野球名球会	18	3,210	17	3,170	0	0
BFJ関係団体	08.全日本野球協会	BFJ	全日本野球協会	23	1,001	23	1,001	0	0
	09.日本野球連盟	JABA	日本野球連盟	5	1,145	5	1,145	0	0
			地区連盟(9)	13	1,324	13	1,324	0	0
			都道府県連盟(24)	45	7,123	45	7,123	2	566
			市町村連盟(1)	1	130	1	130	0	0
			企業チーム(90)	597	221,815	542	50,022	7	294
			クラブチーム(61)	199	60,403	182	14,330	21	2,107
			全日本少年硬式野球連盟	8	460	8	460	0	0
			日本少年野球連盟	103	27,448	32	1,696	0	0
			日本ポニーベースボール協会	27	6,590	27	6,590	0	0
			日本リトルシニア中学硬式野球協会	2	500	2	500	0	0
	日本リトルリーグ野球協会	3	304	3	304	1	160		
	10.全日本大学野球連盟	大学野球	全日本大学野球連盟	2	254	2	254	0	0
			地区連盟(8)	11	1,975	11	1,975	0	0
			大学(54)	129	12,551	128	12,551	1	30
	11.日本高等学校野球連盟	高野連	日本高等学校野球連盟	7	2,291	7	2,291	0	0
			都道府県連盟(47)	405	60,124	395	59,124	1	120
			高校(※²)	126	7,652	121	9,031	0	0
			その他(26)(※³)	130	9,031	129	7,350	0	0
12.全日本軟式野球連盟	全軟連	全日本軟式野球連盟	44	3,254	44	3,254	1	126	
		都道府県連盟(30)	183	22,103	173	20,421	4	364	
		その他(36)(※⁴)	93	16,863	71	8,243	6	283	
				5,933	5,650,458	5,251	965,179	204	17,350

団体名の()内数値は回答団体数

[普及振興活動状況調査の集計及び分析作業における特記事項]

(※¹) 地域貢献活動

不特定多数の人が往来する事業が多数。「〇〇まつり〇十万人」「〇〇マラソン大会〇万人」とする数値は、直接リーチした人数値に大きな影響を及ぼすため、全体集計に含めず「地域貢献活動」のみを独立させて集計作業を行った。

例えば、独立リーグの全体の参加人数が257万4,292人となっているのは、「地域貢献活動」として石川県「百万石まつり」への参加人数45万人といったように万単位の参加人数の事業がこれを含めて15あり、合計で236万人分が含まれているからである。

(※²) 高校

「複数校合同で実施」といった表現が用いられている事業が存在するため、事業参加高校総数を算出せずに集計作業を行った。

(※³) その他

都道府県連盟の地区支部、協議会、OB会など。都道府県連盟と合同で行った事業は、都道府県連盟の事業に計上し、集計作業を行った。

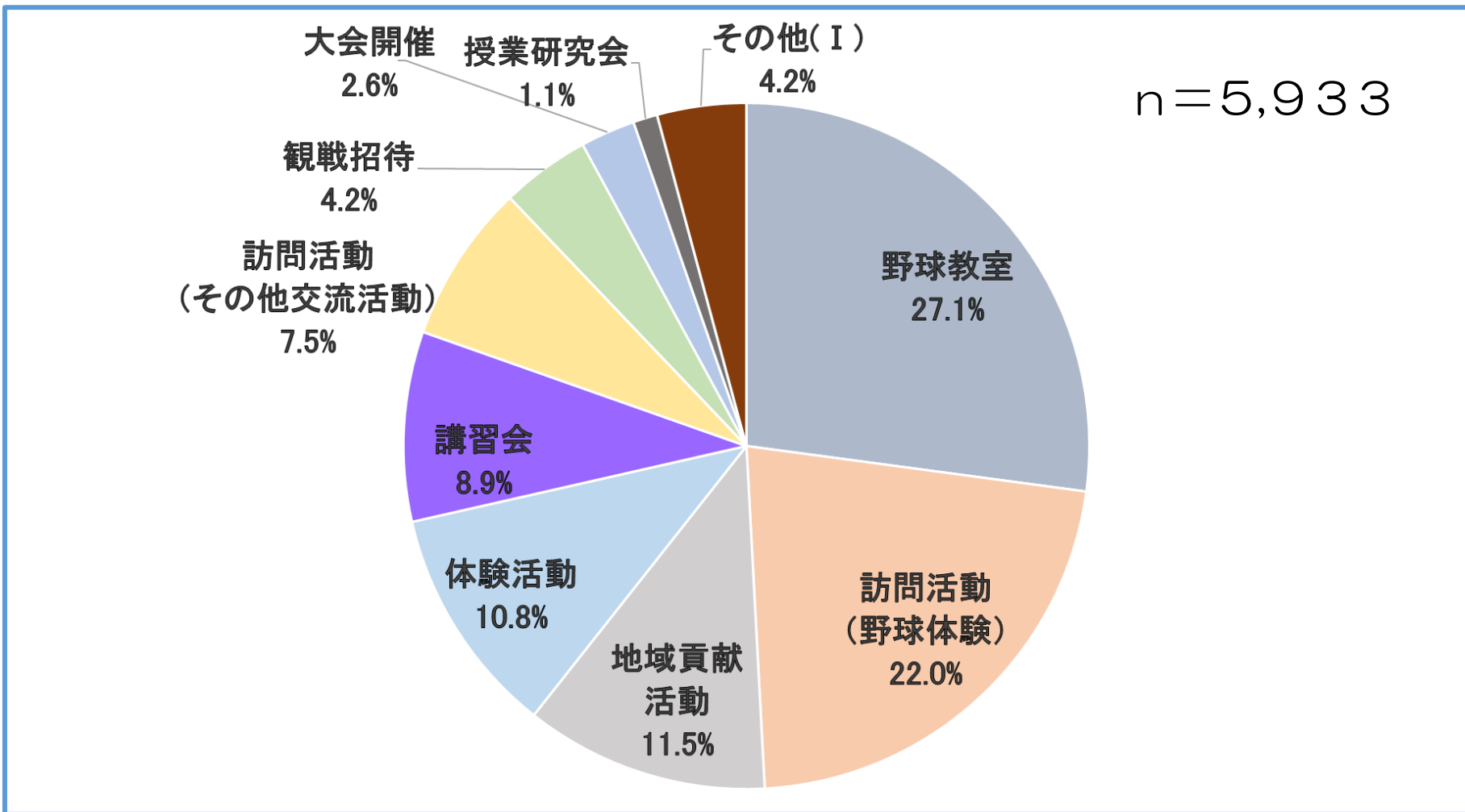
(※⁴) その他

都道府県連盟の地区支部、協議会、スポーツ少年団など。都道府県連盟と合同で行った事業は、都道府県連盟の事業に計上し、集計作業を行った。

調査票 I

= イベントごとに参加者が異なる事業(参加者の継続性なし) =

全体(回数)



2020年は、野球界全体で5,933回の普及振興活動が行われた。なかでも「野球教室」が最も多く、1,609回で全体の27.1%を占めた。次いで、「訪問活動(野球体験)」22.0%、「地域貢献活動」11.5%、「体験活動」10.8%、「講習会」8.9%、「訪問活動(その他交流活動)」7.5%、「観戦招待」4.2%、「大会開催」2.6%、「授業研究会」1.1%、「その他(I)」4.2%であった。

全体(回数&割合) ※2018年及び2016年と2020年との比較

調査年	野球教室	体験活動	訪問活動(※ ¹)			授業研究会(※ ²)	大会開催	観戦招待(※ ³)	講習会	地域貢献活動(※ ⁴)	その他(I)	合計	
			野球体験	その他交流活動	小計								
2020	回数	1,609	642	1,307	444	1,751	68	153	249	531	682	248	5,933
	%	27.1	10.8	22.0	7.5	29.5	1.1	2.6	4.2	8.9	11.5	4.2	100.0
2018	回数	1,293	640	1,016	519	1,535	66	138	215	419	568	101	4,975
	%	26.0	12.9	20.4	10.4	30.9	1.3	2.8	4.3	8.4	11.4	2.0	100.0
2016	回数	1,442	424	—	—	882	21	145	—	197	—	294	3,405
	%	42.3	12.5	—	—	25.9	0.6	4.3	—	5.8	—	8.6	100.0

※¹ 2016年調査では、調査項目が「訪問活動」であった。

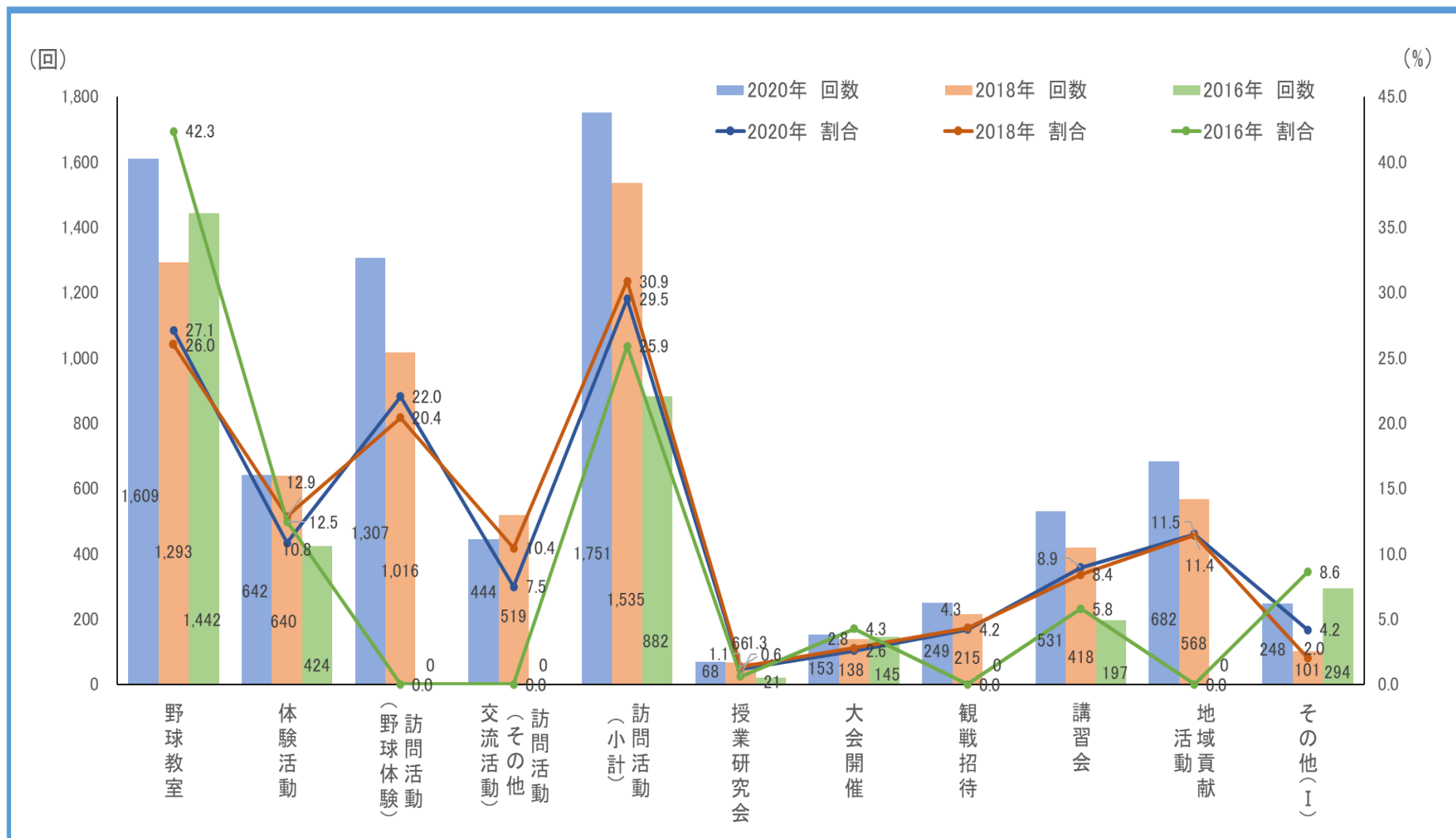
※² 2016年調査及び2018年調査では、調査項目「授業研究会」は「教員向け体育授業研究会」であった。

※³ 2016年調査における「観戦招待」の回数及び割合は、データの都合から記載していない。

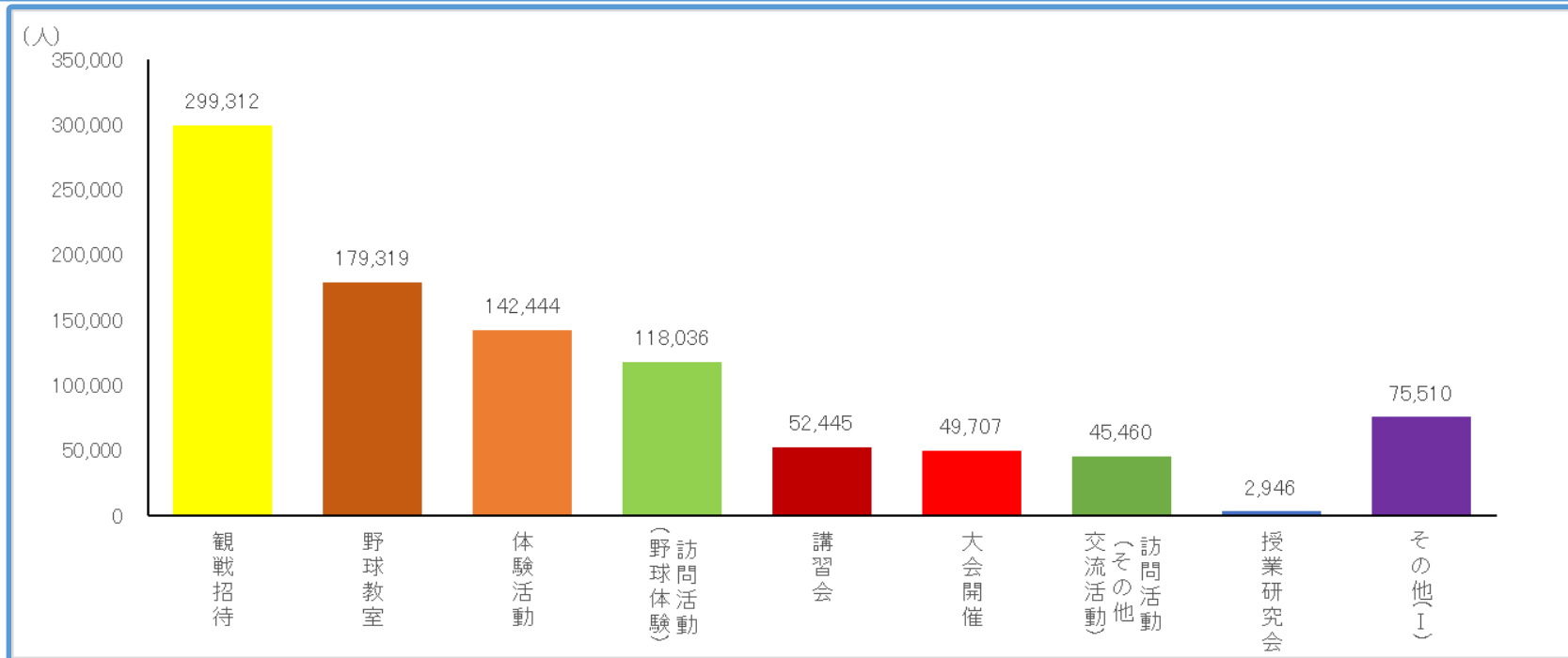
※⁴ 2016年調査では、「地域貢献活動」は調査されていない。

総事業回数は、2018年及び2016年よりも2020年の方が増加している。特に「訪問活動」、「観戦招待」、「講習会」及び「地域貢献活動」の2020年の回数が増加している。一方で、「体験活動」、「授業研究会」及び「大会開催」は、2018年と比較すると大きな変化はない。全体に占める事業の割合を比較すると、2016年では、「野球教室」42.3%、「訪問活動」25.9%の順に高かったが、2018年及び2020年では、「訪問活動」、「野球教室」の順に高かった。「訪問活動」の内訳について、2018年と2020年を比較すると、「野球体験」については2018年より2020年は回数が増加し、「その他交流活動」については2018年より2020年は回数が減少した。

全体(回数&割合) ※2018年及び2016年と2020年との比較



全体(人数)【地域貢献活動を除く】



調査年		観戦招待	野球教室	体験活動	訪問活動(※ ¹)			講習会	大会開催	授業研究会(※ ²)	その他(I)	合計
					野球体験	その他交流活動	小計					
2020	人数	299,312	179,319	142,444	118,036	45,460	163,496	52,445	49,707	2,946	75,510	965,179
	%	31.0	18.6	14.4	12.2	4.7	16.9	5.4	5.2	0.3	7.8	100.0
2018	人数	254,384	132,864	150,737	85,600	65,611	151,211	40,231	45,352	3,698	29,070	807,547
	%	31.5	16.5	18.7	10.6	8.1	18.7	5.0	5.6	0.5	3.6	100.0
2016	人数	162,568	177,276	97,037	—	—	80,717	19,574	54,711	1,212	135,636	728,731
	%	22.3	24.3	13.3	—	—	11.1	2.7	7.5	0.2	18.6	100.0

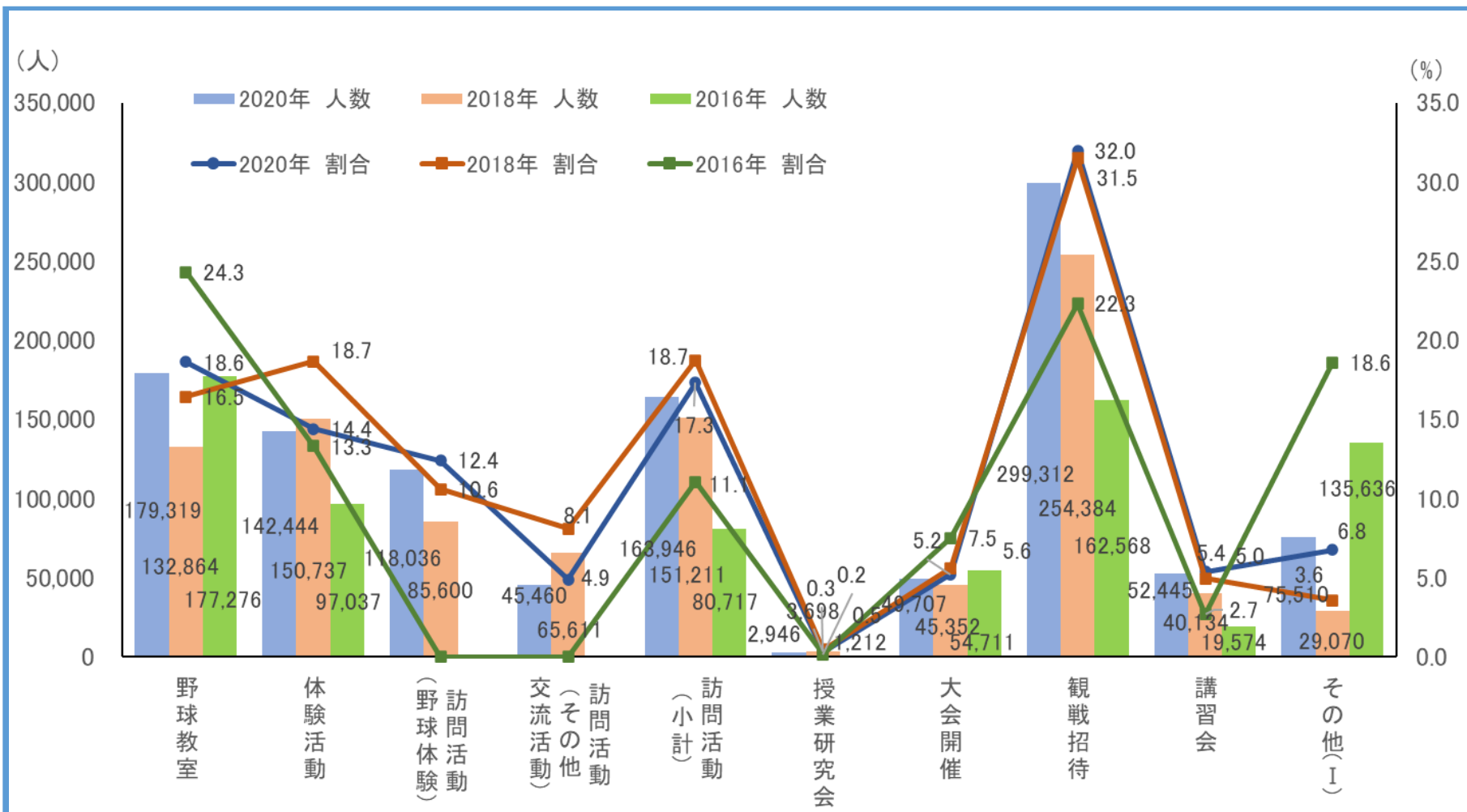
※¹ 2016年調査では、調査項目が「訪問活動」であった。

※² 2016年調査及び2018年調査では、調査項目「授業研究会」は「教員向け体育授業研究会」であった。

注) 極端に人数が多い活動があるため、地域貢献活動を除外している。

2020年の事業には、合計で96万5,179人が参加した。事業の中で最も多くの参加者があったのは「観戦招待」で、29万9,312人であった。次いで、「野球教室」(17万9,319人)、「訪問活動」(16万3,496人)、「体験活動」(14万2,444人)への参加が多かった。

全体(人数)【地域貢献活動を除く】



2020年の事業参加人数を2018年及び2016年と比較すると、「訪問活動」、「観戦招待」及び「講習会」の参加人数は増加傾向にある。また、2018年と比較すると、「訪問活動(野球体験)」は増加しているが、「訪問活動(その他交流活動)」は減少している。「授業研究会」及び「大会開催」は、2020年と2018年とを比較すると、参加人数はほとんど増加していない。

団体別(回数)

団体	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
NPB	436	259	912	220	65	38	208	106	238	153	2,635
独立リーグ	157	36	102	146	1	9	10	19	246	9	735
女子プロ	66	10	35	1	0	0	0	0	3	0	115
選手会	7	2	38	20	0	42	2	0	0	0	111
OBクラブ	66	2	6	9	0	13	0	4	0	0	100
WCBF	6	1	0	0	0	1	0	7	0	5	20
名球会	10	4	1	0	0	2	0	0	1	0	18
BFJ	0	0	0	2	0	0	0	21	0	0	23
JABA	383	151	168	12	1	28	11	31	72	3	860
ヤングリーグ	1	0	0	0	0	0	0	7	0	0	8
ボーイズ	15	3	0	0	0	1	0	12	71	1	103
ポニー	11	3	0	0	0	0	0	13	0	0	27
リトルシニア	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
リトル	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
全女連	10	5	2	7	0	6	1	1	2	9	43
大学野球	100	19	3	0	0	6	6	5	1	2	142
高野連	274	106	38	27	1	0	10	136	16	60	668
全軟連	67	38	2	0	0	7	1	167	32	6	320
合計	1,609	642	1,307	444	68	153	249	531	682	248	5,933

2020年の活動を団体別にみると、NPBの活動回数が各団体の活動の中でも最も多く2,635回、次いでJABA(860回)、独立リーグ(735回)、高野連(668回)であった。

NPBでは、「訪問活動(野球体験)」が、女子プロ、OBクラブ、名球会、JABA、全女連、大学野球及び高野連では「野球教室」が、WCBF、BFJ、ヤングリーグ、ポニー、リトルシニア及び全軟連では「講習会」が、独立リーグ及びボーイズでは「地域貢献活動」が、選手会では「大会開催」が、リトルでは「体験活動」が最も多かった。

※ ヤングリーグ：全日本少年硬式野球連盟、ボーイズ：日本少年野球連盟(ボーイズリーグ)、ポニー：日本ポニーベースボール協会、リトルシニア：日本リトルシニア中学硬式野球協会、リトル：日本リトルリーグ野球協会、全女連：全日本女子野球連盟

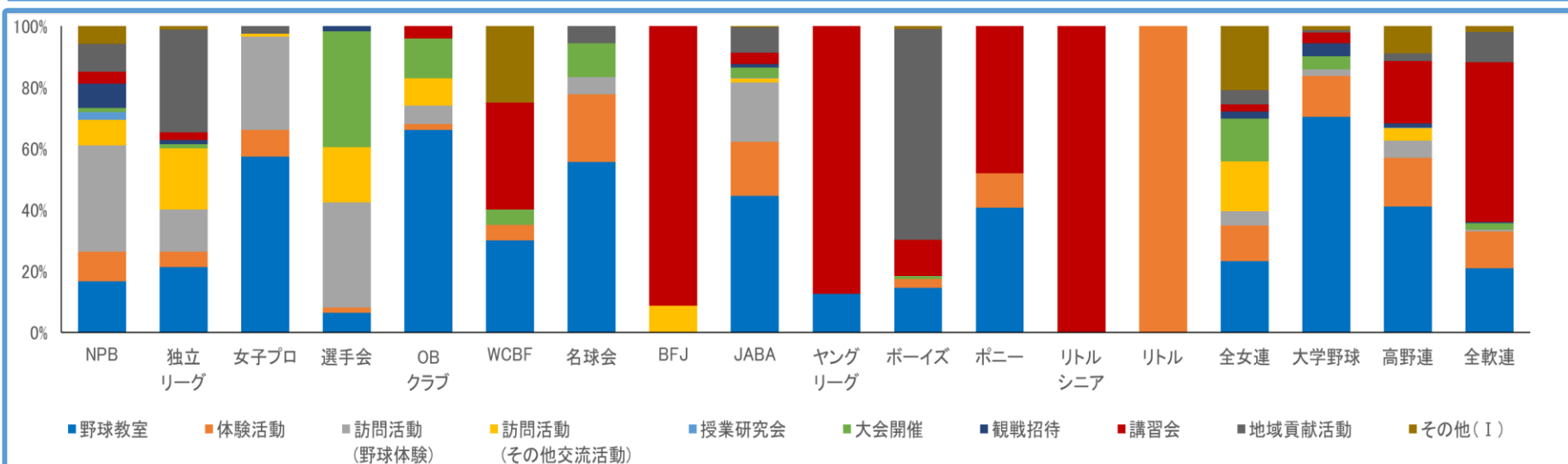
団体別(人数)

団体	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	その他(I)	合計
NPB	53,410	88,557	82,006	20,076	2,814	22,864	243,923	11,177	67,794	592,621
独立リーグ	6,331	2,658	7,114	18,872	100	1,420	46,150	1,457	715	84,817
女子プロ	11,104	2,239	7,406	200	0	0	0	0	0	20,949
選手会	1,730	6,850	4,996	680	0	9,802	5,400	0	0	29,458
OBクラブ	12,560	495	944	1,532	0	2,411	0	686	0	18,628
WCBF	773	119	0	0	0	100	0	356	146	1,494
名球会	1,895	395	70	0	0	810	0	0	0	3,170
BFJ	0	0	0	91	0	0	0	910	0	1,001
JABA	33,208	16,028	12,641	1,505	30	7,024	1,447	2,066	125	74,074
ヤングリーグ	63	0	0	0	0	0	0	397	0	460
ボーイズ	335	53	0	0	0	80	0	928	300	1,696
ポニー	3,215	1,600	0	0	0	0	0	1,775	0	6,590
リトルシニア	0	0	0	0	0	0	0	500	0	500
リトル	0	304	0	0	0	0	0	0	0	304
全女連	566	567	234	980	0	1,570	150	200	656	4,923
大学野球	9,560	1,937	230	0	0	1,433	967	443	210	14,780
高野連	37,805	14,222	2,084	1,524	2	0	1,230	16,776	4,153	77,796
全軟連	6,764	6,420	311	0	0	2,193	45	14,774	1,411	31,918
合計	179,319	142,444	118,036	45,460	2,946	49,707	299,312	52,445	75,510	965,179

※地域貢献活動は、人数を特定できない活動があることから、分析の対象から除いている。

団体別に事業参加人数をみると、NPBが最も多く、59万2,621人であり、全体の約61.4%を占めている。次いで、独立リーグ(8万4,817人)、高野連(7万7,796人)、JABA(7万4,074人)であった。NPB及び独立リーグでは「観戦招待」が、女子プロ、OBクラブ、WCBF、名球会、JABA、ポニー、大学野球及び高野連では「野球教室」が、BFJ、ヤングリーグ、ボーイズ、リトルシニア及び全軟連では「講習会」が、選手会及び全女連では「大会開催」が、リトルでは「体験活動」が最も人数が多かった。また、NPBの各事業への参加人数は、「講習会」を除くすべての事業で最も多かった。

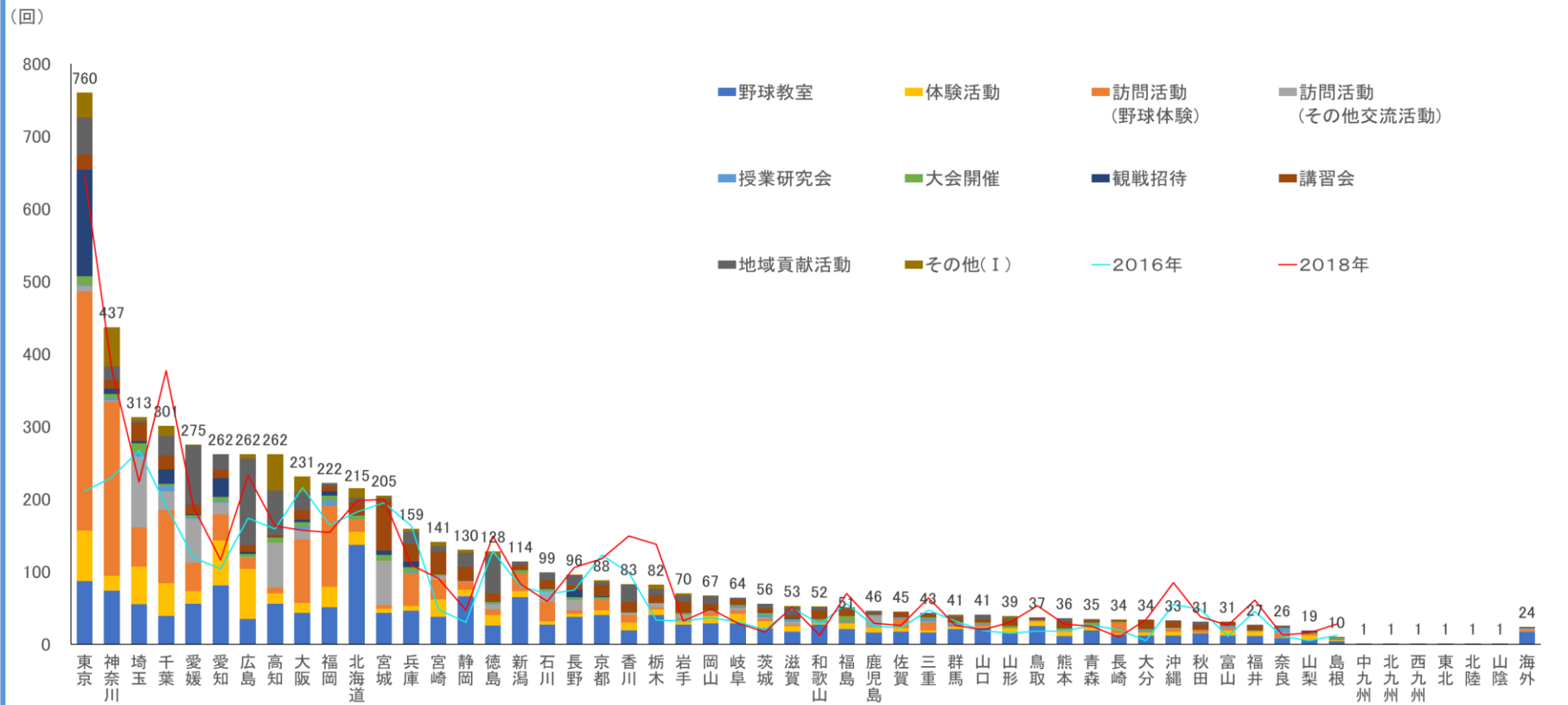
団体別(割合)



団体	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
NPB	16.5	9.8	34.6	8.3	2.5	1.4	7.9	4.0	9.0	5.8	100.0
独立リーグ	21.4	4.9	13.9	19.9	0.1	1.2	1.4	2.6	33.5	1.2	100.0
女子プロ	57.4	8.7	30.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	100.0
選手会	6.3	1.8	34.2	18.0	0.0	37.8	1.8	0.0	0.0	0.0	100.0
OBクラブ	66.0	2.0	6.0	9.0	0.0	13.0	0.0	4.0	0.0	0.0	100.0
WCBF	30.0	5.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	35.0	0.0	25.0	100.0
名球会	55.6	22.2	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	5.6	0.0	100.0
BFJ	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	91.3	0.0	0.0	100.0
JABA	44.5	17.6	19.5	1.4	0.1	3.3	1.3	3.6	8.4	0.3	100.0
ヤングリーグ	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	100.0
ボーイズ	14.6	2.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	11.7	68.9	1.0	100.0
ポニー	40.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.1	0.0	0.0	100.0
リトル	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
リトルシニア	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全女連	23.3	11.6	4.7	16.3	0.0	14.0	2.3	2.3	4.7	20.9	100.0
大学野球	70.4	13.4	2.1	0.0	0.0	4.2	4.2	3.5	0.7	1.4	100.0
高野連	41.0	15.9	5.7	4.0	0.1	0.0	1.5	20.4	2.4	9.0	100.0
全軟連	20.9	11.9	0.6	0.0	0.0	2.2	0.3	52.2	10.0	1.9	100.0
合計	27.1	10.8	22.0	7.5	1.1	2.6	4.2	8.9	11.5	4.2	100.0

団体別に事業の割合をみると、女子プロ、OBクラブ、名球会、JABA、全女連、大学野球及び高野連では「野球教室」の割合が最も大きい。また、WCBF、BFJ、ヤングリーグ、ポニー、リトルシニア及び全軟連では「講習会」の割合が最も大きく、独立リーグ、ボーイズでは「地域貢献活動」の割合が、NPBでは「訪問活動(野球体験)」の割合が、選手会では「大会開催」の割合が最も大きかった。

都道府県×活動(回数) 回数順



〈プロ球団が所在する都道府県〉

NPB : 北海道、宮城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県

独立リーグ : 福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、神奈川県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県、滋賀県、愛媛県、香川県、高知県、徳島県

女子プロ : 埼玉県、愛知県、京都府

都道府県別に事業回数をみると、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、広島県、大阪府、福岡県、北海道、宮城県、兵庫県といったNPB球団のある都道府県に事業が集中している。また、愛媛県、高知県、徳島県など、独立リーグのある都道府県で回数が多い場合がある。ただし、香川県、栃木県、福島県、福井県など独立リーグがある県でも2018年に比べて回数が減少しているところがある。また、島根県、山梨県、奈良県及び福井県では回数が30回未満と少ない。

都道府県×活動(回数) 回数順

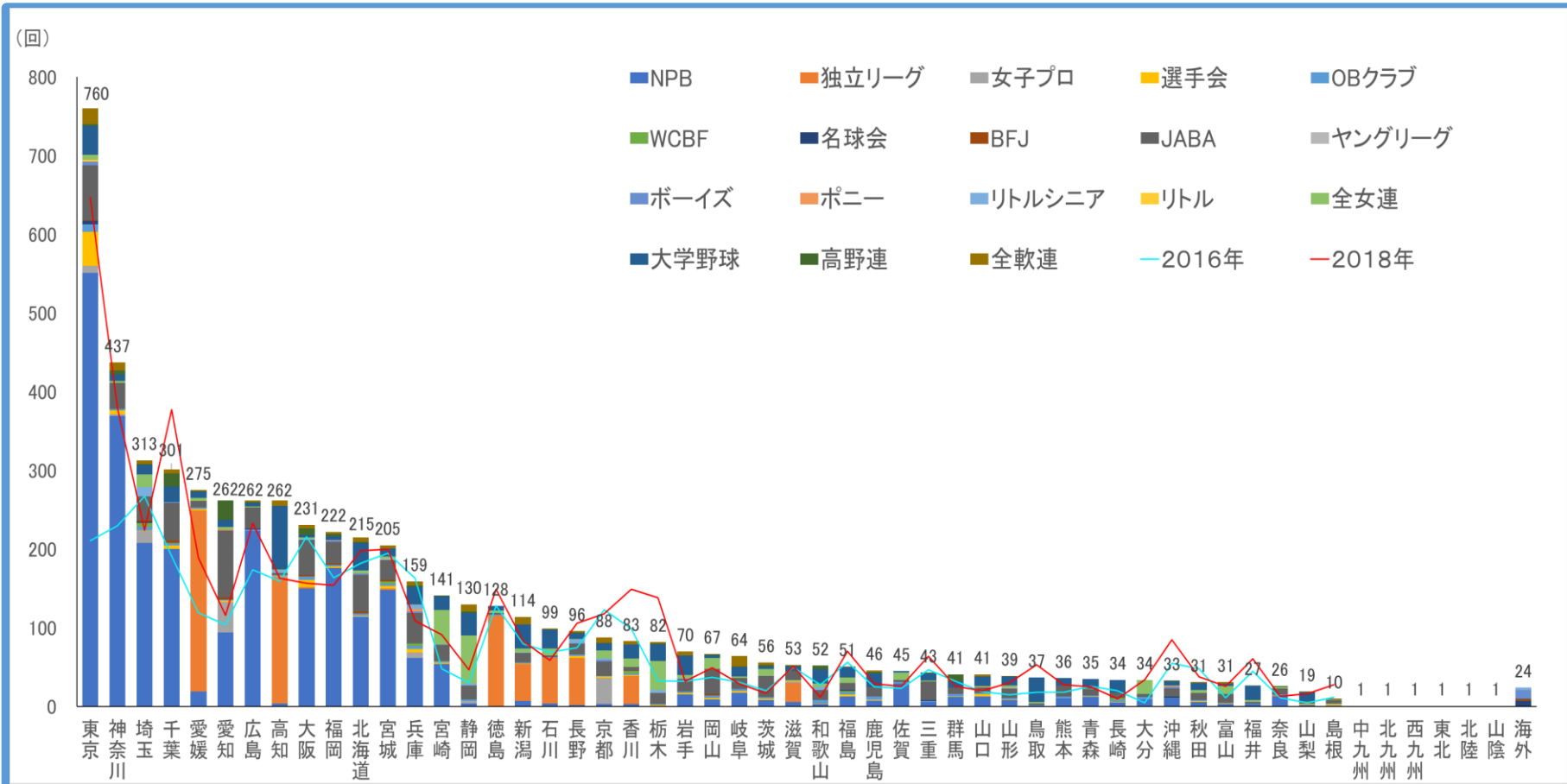
活動	東京	神奈川	埼玉	千葉	愛媛	愛知	広島	高知	大阪	福岡	北海道	宮城	兵庫	宮崎	静岡	徳島	新潟	石川	長野	京都	香川	栃木	岩手	岡山	岐阜	茨城	滋賀	
野球教室	87	74	55	39	56	81	35	56	43	51	137	43	46	38	66	26	65	27	38	40	19	40	27	29	29	22	17	
体験活動	70	20	52	45	17	62	69	14	14	28	18	6	7	24	9	14	8	5	4	7	11	8	4	10	13	10	8	
訪問活動(野球体験)	329	240	54	101	39	36	15	8	87	112	16	5	44	27	11	8	24	26	5	14	10	3	5	5	5	3	2	
訪問活動(その他交流活動)	8	2	98	26	61	16	1	62	14	0	1	61	1	5	1	7	0	15	14	1	3	5	5	1	3	2	4	
授業研究会	1	3	5	7	2	2	0	0	4	7	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	3	2
大会開催	12	6	13	3	3	6	4	7	6	7	5	8	7	2	0	2	5	2	4	3	1	1	2	2	2	3	2	
観戦招待	147	7	3	20	1	26	3	1	4	6	0	6	8	0	0	0	0	1	10	1	0	0	0	0	0	1	1	
講習会	21	12	25	19	13	12	10	3	13	7	19	69	24	31	20	12	7	11	6	15	15	10	16	8	8	6	4	
地域貢献活動	51	19	3	27	82	21	119	61	24	4	6	4	17	8	19	53	5	11	14	4	23	9	8	11	2	6	11	
その他(I)	34	54	5	14	1	0	6	50	22	0	13	3	4	6	4	5	0	0	1	3	1	6	3	1	0	0	2	
合計	760	437	313	301	275	262	262	262	231	222	215	205	159	141	130	128	114	99	96	88	83	82	70	67	64	56	53	

活動	和歌山	福島	鹿児島	佐賀	三重	群馬	山口	山形	鳥取	熊本	青森	長崎	大分	沖縄	秋田	富山	福井	奈良	山梨	島根	中九州	北九州	西九州	東北	北陸	山陰	海外	合計
野球教室	27	21	16	17	16	21	23	16	25	11	19	13	12	12	15	12	11	8	6	4	0	0	0	0	0	0	17	1,608
体験活動	2	8	7	5	3	3	1	6	6	6	4	2	4	5	1	7	6	1	6	1	0	0	0	0	0	0	1	642
訪問活動(野球体験)	0	1	0	13	11	1	3	0	1	4	2	15	1	4	3	3	0	6	2	1	0	0	0	0	0	0	2	1,307
訪問活動(その他交流活動)	2	0	16	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	444
授業研究会	1	2	1	2	4	3	1	0	0	0	2	0	2	0	0	2	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	68
大会開催	3	7	1	0	2	2	2	3	0	1	3	1	2	1	0	1	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	153
観戦招待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	249
講習会	12	9	2	8	5	7	4	8	3	9	3	2	12	8	7	5	7	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	531
地域貢献活動	4	2	3	0	1	2	7	3	1	4	2	0	0	2	4	0	1	2	1	0	1	1	1	1	1	1	0	667
その他(I)	1	1	0	0	0	2	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	247
合計	52	51	46	45	43	41	41	39	37	36	35	34	34	33	31	31	27	26	19	10	1	1	1	1	1	1	24	5,916

 最上位
 上位
 35回以下
 30回以下

回数が多い上位10都道府県をみると、東京都、神奈川県、千葉県、大阪府及び福岡県では「訪問活動(野球体験)」が最も多く、埼玉県及び高知県では「訪問活動(その他交流活動)」が、愛知県及び北海道では「野球教室」が、愛媛県及び広島県では「地域貢献活動」が最も多い。さらに、回数の合計が上位の都道府県は、1つの事業の回数だけでなく、複数の事業で回数が上位となっている傾向がある。

都道府県×団体(回数) 回数順



都道府県別に団体の事業回数をみると、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、広島県、大阪府、福岡県、北海道、宮城県、兵庫県といったNPB球団がある都道府県で事業回数が多く、NPBによる事業回数が多い割合を占めている。次いで、愛媛県、高知県、徳島県、新潟県、石川県、長野県、香川県など、独立リーグがある都道府県でも事業回数も多く、独立リーグによる事業回数が多い割合を占めている。

都道府県×団体(回数) 回数順

団体	東京	神奈川	埼玉	千葉	愛媛	愛知	広島	高知	大阪	福岡	北海道	宮城	兵庫	宮崎	静岡	徳島	新潟	石川	長野	京都	香川	栃木	岩手	岡山	岐阜	茨城	滋賀
NPB	551	369	208	200	19	94	223	4	150	176	114	148	62	54	4	1	7	4	2	3	3	1	15	9	17	8	6
独立リーグ	0	0	0	0	230	0	0	160	2	0	0	2	0	0	0	115	47	58	60	0	36	0	0	0	0	0	24
女子プロ	9	2	15	0	0	39	0	1	0	0	1	0	7	0	3	0	0	0	0	33	0	0	0	0	1	0	2
選手会	43	5	1	5	2	2	0	1	9	2	1	3	4	2	0	0	1	0	2	2	1	1	2	2	2	2	1
OBクラブ	10	2	4	2	2	1	2	1	4	2	2	3	4	2	2	1	1	1	2	1	2	1	2	3	2	2	1
WCBF	0	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
名球会	4	0	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BFJ	1	0	2	3	0	2	0	0	2	2	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0
JABA	70	33	30	48	8	85	27	3	45	27	46	25	39	20	18	2	12	2	14	18	4	14	16	32	14	27	11
ボーイズ	2	5	1	16	1	25	1	0	8	3	1	0	2	1	2	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	2	1
ヤングリーグ	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ポニー	4	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	0	2	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
リトルシニア	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リトル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全女連	0	0	12	0	0	0	0	3	1	0	0	0	5	0	2	0	1	0	5	2	0	4	1	0	0	0	0
大学野球	20	10	5	5	1	0	2	7	5	3	6	4	5	0	9	0	10	1	2	7	4	2	5	1	13	3	1
高野連	37	8	12	20	8	9	5	81	3	4	35	10	22	17	29	6	30	24	7	9	18	21	25	3	12	3	6
全軟連	6	3	16	0	4	3	1	1	2	0	4	3	1	44	61	3	5	9	1	10	11	37	4	14	2	9	0
合計	760	437	313	301	275	262	262	262	231	222	215	205	159	141	130	128	114	99	96	88	83	82	70	67	64	56	53

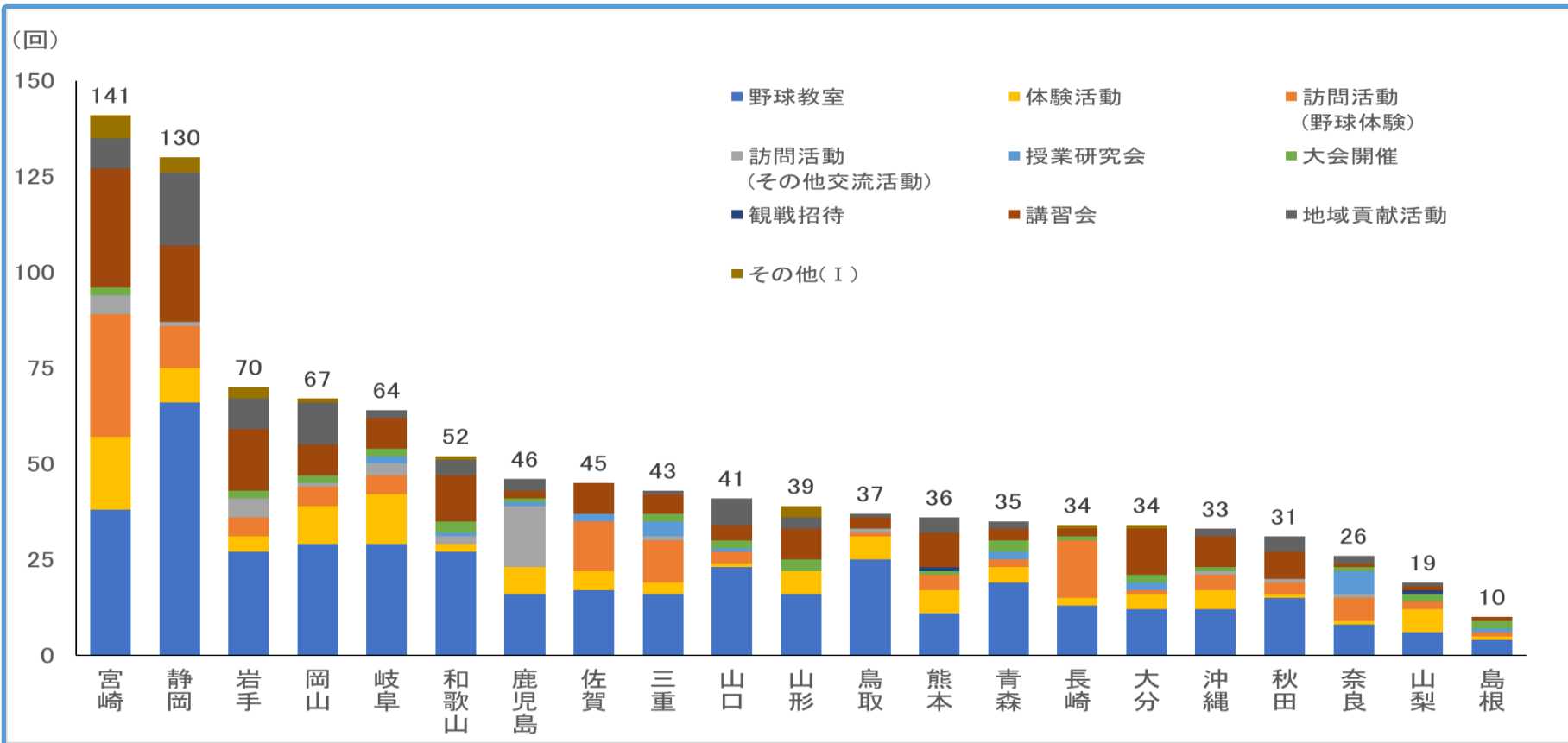
団体	和歌山	福島	鹿児島	佐賀	三重	群馬	山口	山形	鳥取	熊本	青森	長崎	大分	沖縄	秋田	富山	福井	奈良	山梨	島根	中九州	北九州	西九州	東北	北陸	山陰	海外	合計	
NPB	3	13	7	29	6	12	13	8	0	10	12	5	9	10	6	3	3	13	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2,618
独立リーグ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	735
女子プロ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	115
選手会	1	2	1	0	0	1	3	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	111
OBクラブ	4	3	4	2	1	3	1	2	2	3	1	2	3	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	100
WCBF	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20
名球会	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	18
BFJ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23
JABA	13	9	12	3	24	8	7	12	2	14	8	7	4	10	9	10	2	8	3	4	0	0	0	0	0	0	0	1	860
ヤングリーグ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
ボーイズ	5	0	2	0	1	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	0	103	
ポニー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	27
リトルシニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
リトル	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
全女連	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	43
大学野球	0	1	2	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	142
高野連	18	13	17	2	9	8	12	11	31	9	12	16	0	5	9	3	18	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	668	
全軟連	4	7	0	9	1	0	1	3	2	0	1	0	18	1	4	10	2	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	320
合計	52	51	46	45	43	41	41	39	37	36	35	34	34	33	31	31	27	26	19	10	1	1	1	1	1	1	1	24	5,916

最上位 上位 35回以下 30回以下

NPBの回数が最も多いのは、東京都の551回、次いで神奈川県369回、広島県223回、埼玉県208回の順であった。独立リーグの回数が最も多いのは、愛媛県の230回、次いで高知県160回、徳島県115回の順であった。選手会、OBクラブ及び大学野球の回数が最も多いのも東京都であった。名球会及びポニーの回数が最も多いのは海外であった。女子プロ、JABA及びボーイズの回数が最も多いのは愛知県であった。高野連の回数が最も多いのは高知県で、全軟連の回数が最も多いのは静岡県であった。

プロ球団がない都道府県×活動(回数)

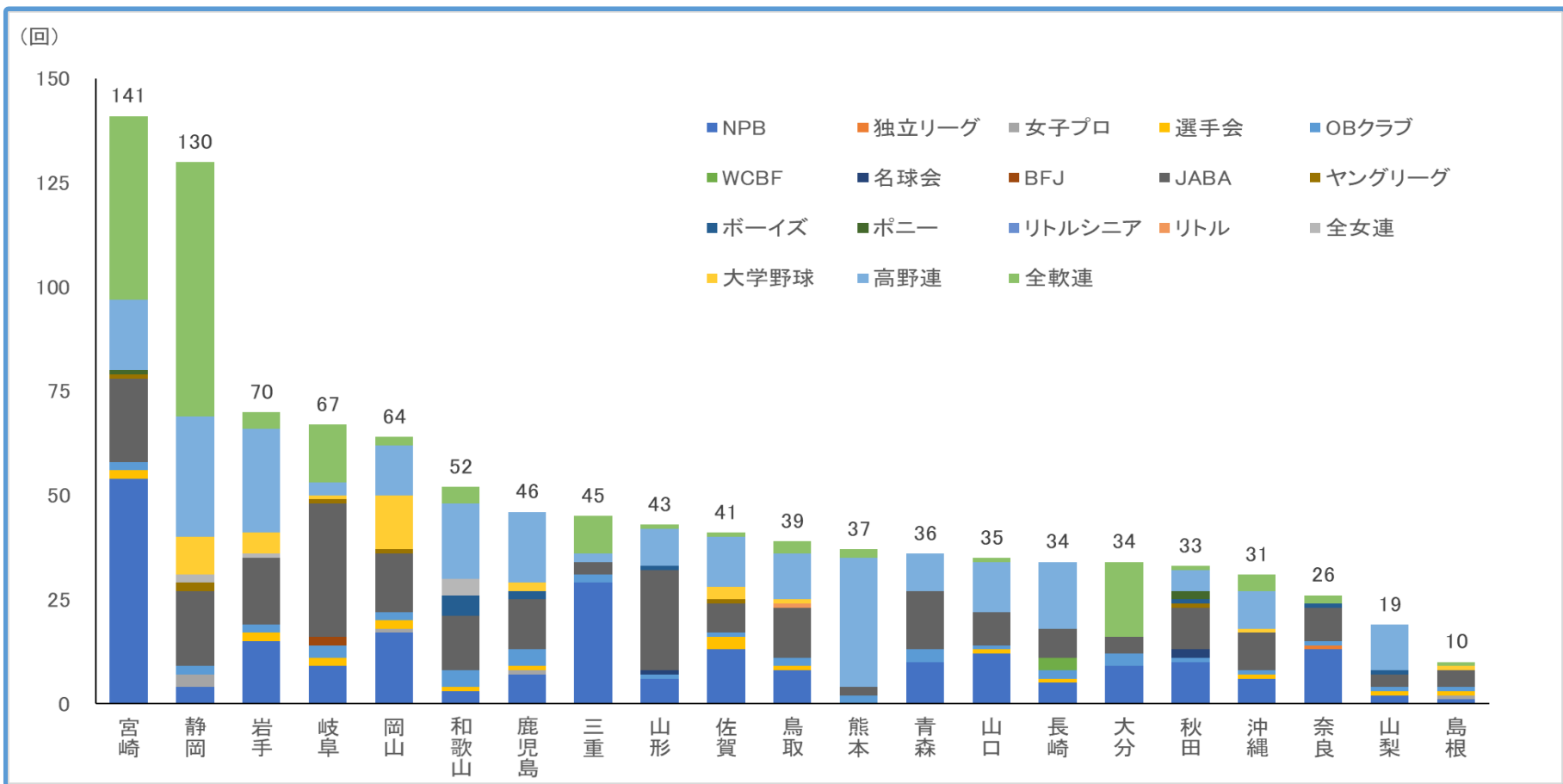
※プロ球団=2019年時点のNPB、独立リーグ、女子プロ



プロ球団(NPB、独立リーグ、女子プロ)がない都道府県(21県)を抽出し、事業の内容と回数をみると、2018年の調査と同様に、宮崎県が最も多く141回であった。次いで、静岡県130回、岩手県70回、岡山県67回、岐阜県64回の順であった。一方で、島根県と山梨県は、年間の事業回数が20回未満であり、著しく少ない。プロ球団がない都道府県では、事業回数が上位の都道府県と比べると、特に「訪問活動」、「地域貢献活動」、「体験活動」が少ない傾向がある。

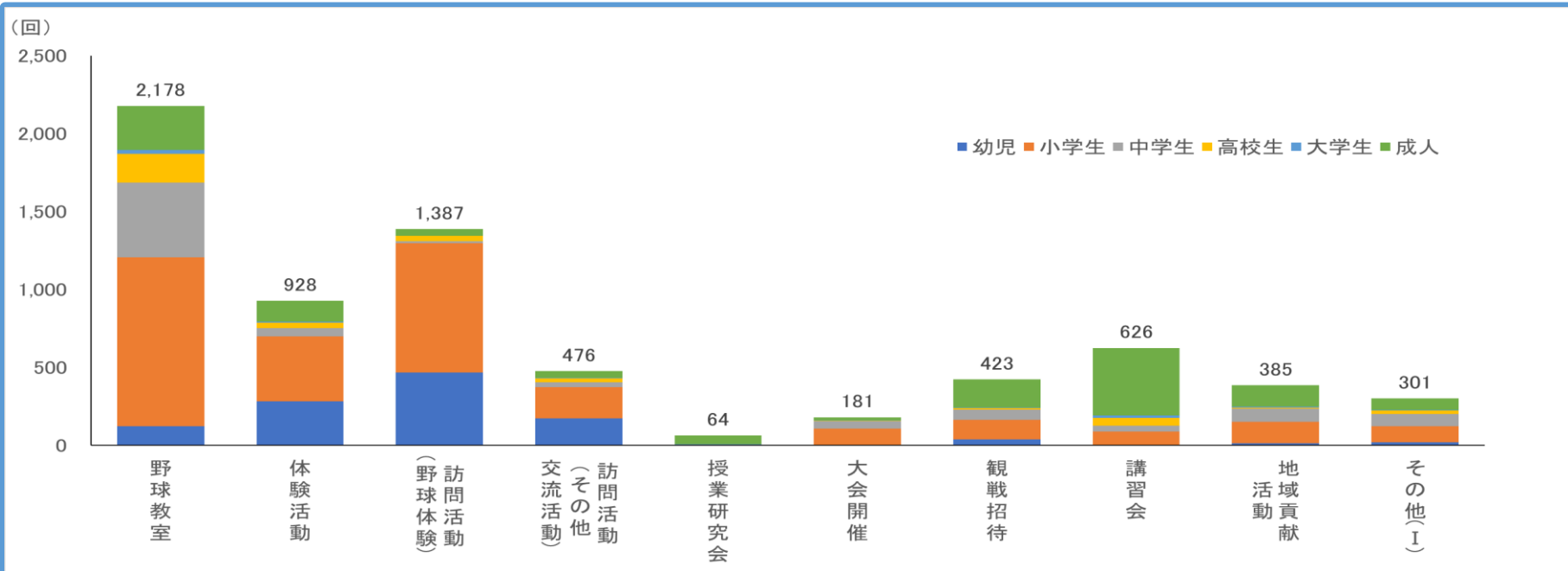
プロ球団がない都道府県×団体(回数)

※プロ球団=2019年時点のNPB、独立リーグ、女子プロ



プロ球団(NPB、独立リーグ、女子プロ)がない都道府県での活動は、どの団体が行っているかを見てみると、141回の宮崎県では全軟連及びNPBの事業回数が多かった。その他のプロ球団がない都道府県では、全軟連、JABA、高野連の事業が多い傾向にある。また、活動回数が少ない島根県及び山梨県では、全軟連やNPBの事業が、島根県、奈良県、大分県では高野連の事業がほとんど行われていない。

活動対象 × 活動(回数)

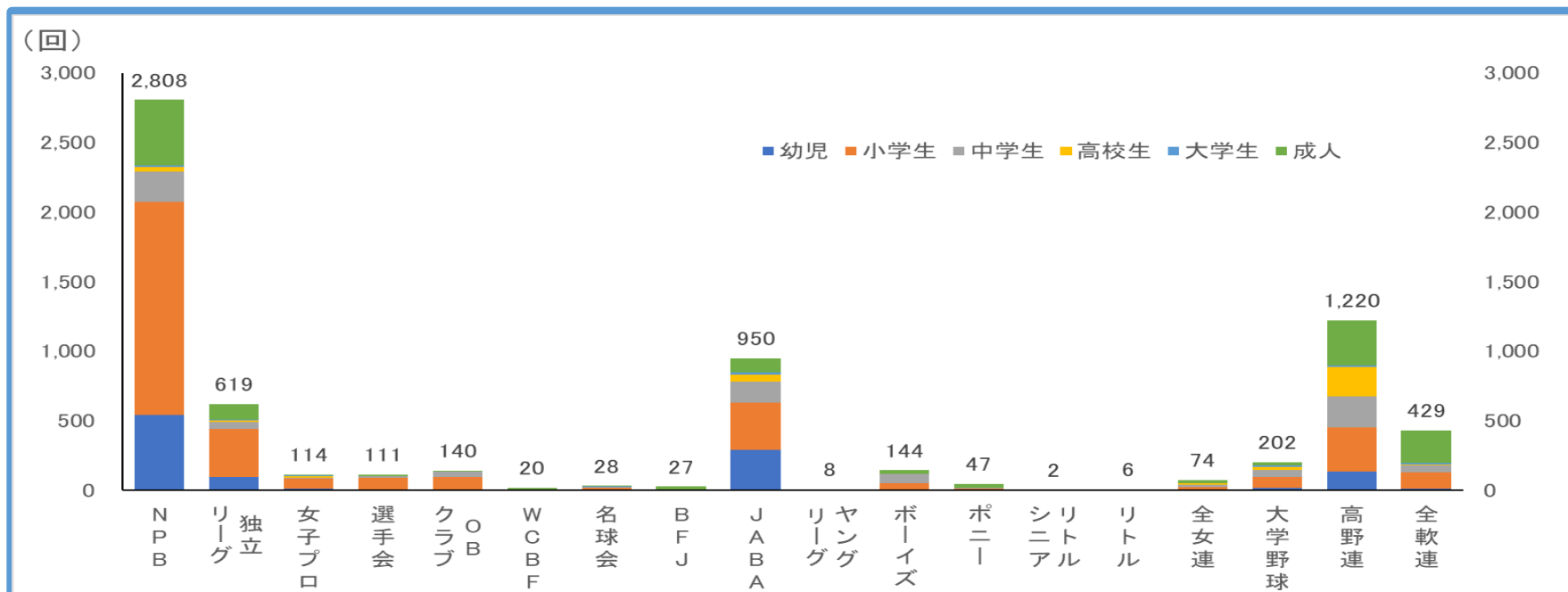


対象	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
幼児	123	283	468	173	0	3	40	1	14	20	1,125
小学生	1,083	417	829	202	1	105	125	88	137	104	3,091
中学生	479	52	14	31	1	47	66	39	85	78	892
高校生	187	36	33	25	0	4	7	48	8	23	371
大学生	25	4	2	2	6	3	5	15	5	2	69
成人	281	136	41	43	56	19	180	435	136	74	1,401
合計	2,178	928	1,387	476	64	181	423	626	385	301	6,949

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

事業の対象集団(幼児、小学生、中学生、高校生、大学生、成人)別に事業回数をみると、小学生を対象にした事業が3,091回とおよそ半分を占めた。次いで成人を対象にした事業(1,401回)、幼児を対象にした事業(1,125回)の順に多かった。一方で、大学生を対象にした事業が最も少なかった。また、小学生、中学生、高校生及び大学生に対しては「野球教室」の回数が最も多く、幼児に対しては「訪問活動(野球体験)」が、成人に対しては「講習会」が最も多かった。

活動対象×団体(回数)



対象	NPB	独立リーグ	女子プロ	選手会	OBクラブ	WCBF	名球会	BFJ	JABA	ヤングリーグ	ボーイズ	ポニー	リトルシニア	リトル	全女連	大学野球	高野連	全軟連	合計
幼児	542	95	13	4	9	0	0	0	292	0	0	0	0	1	2	19	133	15	1,125
小学生	1,534	346	72	84	88	8	16	1	339	0	53	11	0	3	22	79	322	113	3,091
中学生	218	48	7	15	38	0	5	1	149	1	67	8	0	0	15	50	220	50	892
高校生	30	16	11	1	1	0	3	1	54	0	0	1	0	0	11	20	213	9	371
大学生	12	3	4	0	0	0	3	1	13	0	0	0	0	0	3	14	9	7	69
成人	472	111	7	7	4	12	1	23	103	7	24	27	2	2	21	20	323	235	1,401
合計	2,808	619	114	111	140	20	28	27	950	8	144	47	2	6	74	202	1,220	429	6,949

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

対象集団別に団体の事業回数をみると、NPB、独立リーグ、JABA、高野連、女子プロ、選手会、OBクラブ及び大学野球は、小学生を対象とした事業が多かった。NPBは、幼児、小学生及び成人を対象とした事業回数が最も多く、高野連は中学生および高校生を対象とした事業が最も多かった。JABAは、幼児に対して小学生に次ぐ回数の事業を行っている。

活動対象×活動・団体(人数)

対象	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	その他(Ⅰ)	合計
幼児	4,751	10,673	34,500	14,900	0	710	5,676	200	3,320	74,730
小学生	108,143	45,739	73,599	23,619	22	29,682	120,735	8,842	10,905	421,286
中学生	37,087	1,423	726	1,681	80	14,247	6,136	3,680	3,428	68,488
高校生	14,360	3,627	690	493	0	500	4,365	5,336	1,296	30,667
大学生	808	46	40	40	364	360	428	554	70	2,710
成人	12,115	9,892	1,526	2,437	2,189	3,783	122,954	32,860	36,488	224,244
合計	177,264	71,400	111,081	43,170	2,655	49,282	260,294	51,472	55,507	822,125

※地域貢献活動は、「活動対象×団体」と比較分析するため、分析の対象から除いている。対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

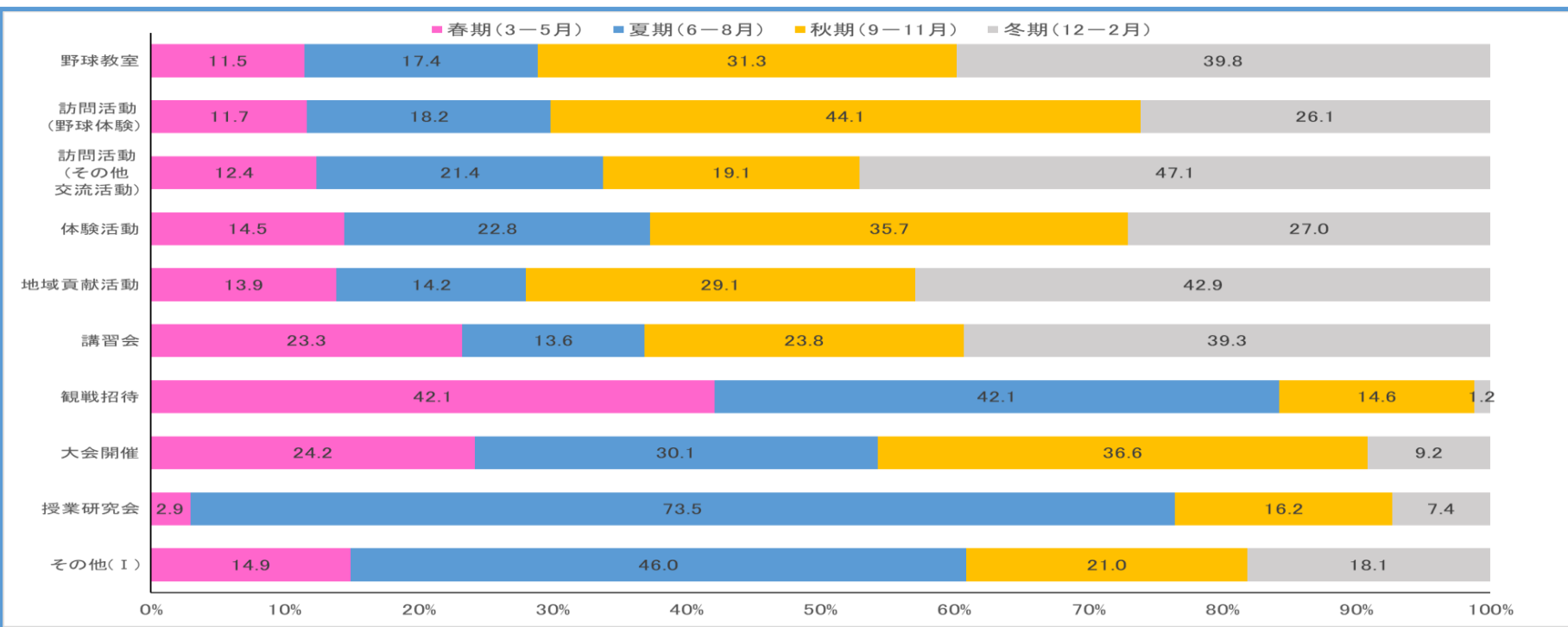
対象	NPB	独立 リーグ	女子プロ	選手会	OB クラブ	WCBF	名球会	BFJ	JABA	ヤング リーグ	ボーイズ	ポニー	リトル シニア	リトル	全女連	大学 野球	高野連	全軟連	合計
幼児	52,921	2,960	81	605	442	0	0	0	11,787	0	865	0	0	4	55	4,217	0	793	74,730
小学生	230,451	70,120	19,251	11,272	12,073	992	2,484	50	31,224	0	651	1,585	0	97	2,298	6,909	21,777	10,052	421,286
中学生	20,155	1,569	260	3,452	5,860	0	490	10	9,204	63	195	1,300	0	0	480	4,148	19,205	2,097	68,488
高校生	5,883	213	486	810	0	0	70	10	4,707	0	0	50	0	0	132	1,442	16,740	124	30,667
大学生	907	25	131	0	0	0	80	10	658	0	0	0	0	0	9	605	221	64	2,710
成人	171,470	2,660	740	1,119	253	502	46	921	5,176	397	850	3,655	500	170	949	751	15,677	18,408	224,244
合計	481,787	77,547	20,949	17,258	18,628	1,494	3,170	1,001	62,756	460	1,696	6,590	500	271	3,923	14,720	77,837	31,538	822,125

※地域貢献活動は、人数を特定できない活動があることから、分析の対象から除いている。対象が特定できない事業は分析の対象から除いている。

事業を対象集団別に人数をみると、小学生の事業参加人数が42万1,286人と最も多く、次いで成人22万4,244人、幼児7万4,730人の順であった。しかし、2018年調査と比較すると、小学生を対象にした事業は2,422回から3,091回へと増加したが、小学生の参加人数は42万2,338人から42万1,286人に減少している。

団体別にみると、幼児、小学生、中学生、大学生、成人は、NPBの事業への参加者が最も多い。特に小学生の人数が圧倒的に多い。高校生の参加者が最も多いのは、高野連であった。ただし、高野連の事業への参加者は、高校生よりも小学生及び中学生の方が多。独立リーグは、小学生の参加が多く、JABAは、小学生及び幼児の参加が多く、大学野球は小学生及び中学生の参加が多い。

活動時期×活動(回数&割合)

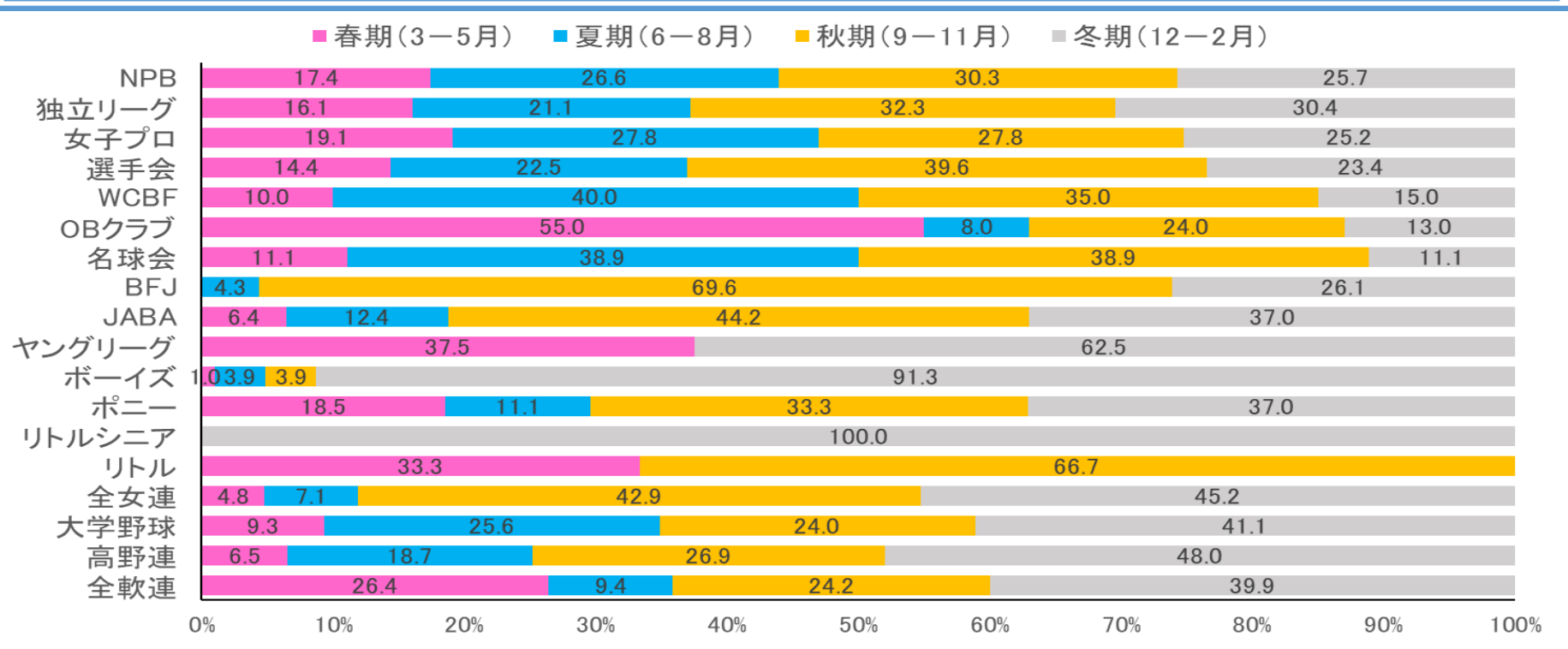


季節	野球教室	体験活動	訪問活動(野球体験)	訪問活動(その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)	合計
春期(3-5月)	183	92	152	55	2	37	104	123	93	37	878
夏期(6-8月)	278	145	237	95	50	46	104	72	95	114	1,236
秋期(9-11月)	499	227	574	85	11	56	36	126	195	52	1,861
冬期(12-2月)	636	172	340	209	5	14	3	208	288	45	1,920
合計	1,596	636	1,303	444	68	153	247	529	671	248	5,895

※通年実施事業数: 1、実施時期不明: 37を除く

事業を季節ごと(春期<3-5月>、夏期<6-8月>、秋期<9月-11月>、冬期<12-2月>)に分類して活動内容と回数を分析した。最も回数の多い「野球教室」は冬季(39.8%)の割合が大きい。次に回数の多い「訪問活動(野球体験)」は、秋季(44.1%)に行われている。「体験活動」、「地域貢献活動」及び「講習会」は、秋期から冬期に行われている。「観戦招待」は、春期から夏期に行われている。また、「野球教室」や「訪問活動(野球体験)」は、秋期及び冬期で約7割を占めるが、月別に見ると、野球のオフシーズンとなる11月から2月にかけて行われている。

活動対象×団体(回数&割合)



季節	NPB	独立リーグ	女子プロ	選手会	WCBF	OBクラブ	名球会	BFJ	JABA	ヤングリーグ	ボーイズ	ポニー	リトルシニア	リトル	全女連	大学野球	高野連	全軟連	合計
春期(3-5月)	457	118	22	16	2	55	2	0	55	3	1	5	0	1	2	12	43	84	878
夏期(6-8月)	698	155	32	25	8	8	7	1	106	0	4	3	0	0	3	33	123	30	1,236
秋期(9-11月)	797	237	32	44	7	24	7	16	379	0	4	9	0	2	18	31	177	77	1,861
冬期(12-2月)	675	223	29	26	3	13	2	6	317	5	94	10	2	0	19	53	316	127	1,920
合計	2,627	733	115	111	20	100	18	23	857	8	103	27	2	3	42	129	659	318	5,895

※通年実施事業数: 1 実施時期不明: 37を除く

団体に分けて季節ごとの状況を見ると、最も回数が多いのはNPBであり、季節にかかわらず1年を通じて事業が行われている。JABA、独立リーグ及び高野連の事業は、秋期及び冬期を中心に行われている。大学野球及び全軟連の事業は、冬期の割合が大きい。OBクラブは春期の、ボーイズは冬期の事業の割合が大きい。

活動時期×活動×団体(回数)①

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計
NPB	春期(3-5月)	88	50	121	35	1	8	86	7	31	30	457
	夏期(6-8月)	105	93	186	41	49	18	92	27	16	71	698
	秋期(9-11月)	132	61	389	41	11	10	30	40	56	27	797
	冬期(12-2月)	111	51	215	103	4	2	0	32	132	25	675
	合計	368	255	911	220	65	38	208	106	235	153	2,627
独立リーグ	春期(3-5月)	18	10	17	10	0	2	7	5	46	3	118
	夏期(6-8月)	21	6	19	52	1	2	1	3	48	2	155
	秋期(9-11月)	53	8	39	26	0	4	0	6	98	3	237
	冬期(12-2月)	65	12	27	58	0	1	0	5	54	1	223
	合計	157	36	102	146	1	9	8	19	246	9	733
女子プロ	春期(3-5月)	12	7	3	0	0	0	0	0	0	0	22
	夏期(6-8月)	11	2	17	0	0	0	0	0	2	0	32
	秋期(9-11月)	23	1	6	1	0	0	0	0	1	0	32
	冬期(12-2月)	20	0	9	0	0	0	0	0	0	0	29
	合計	66	10	35	1	0	0	0	0	3	0	115
選手会	春期(3-5月)	2	0	3	0	0	11	0	0	0	0	16
	夏期(6-8月)	2	0	9	0	0	14	0	0	0	0	25
	秋期(9-11月)	3	2	23	0	0	16	0	0	0	0	44
	冬期(12-2月)	0	0	3	20	0	1	2	0	0	0	26
	合計	7	2	38	20	0	42	2	0	0	0	111
OBクラブ	春期(3-5月)	21	2	6	9	0	13	0	4	0	0	55
	夏期(6-8月)	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	秋期(9-11月)	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
	冬期(12-2月)	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13
	合計	66	2	6	9	0	13	0	4	0	0	100
WCBF	春期(3-5月)	12	7	3	0	0	0	0	0	0	0	22
	夏期(6-8月)	11	2	17	0	0	0	0	0	2	0	32
	秋期(9-11月)	23	1	6	1	0	0	0	0	1	0	32
	冬期(12-2月)	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11
	合計	56	10	27	1	0	0	0	0	3	0	97
名球会	春期(3-5月)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	夏期(6-8月)	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	6
	秋期(9-11月)	4	2	0	0	0	1	0	0	0	0	7
	冬期(12-2月)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	合計	10	4	1	0	0	2	0	0	0	0	17

活動時期×活動×団体(回数)②

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計
BFJ	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夏期(6-8月)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	16	0	0	16
	冬期(12-2月)	0	0	0	1	0	0	0	5	0	0	6
	合計	0	0	0	2	0	0	0	21	0	0	23
JABA	春期(3-5月)	18	11	1	1	0	1	5	12	6	0	55
	夏期(6-8月)	58	15	2	0	0	6	2	0	22	1	106
	秋期(9-11月)	122	98	101	5	0	15	3	7	26	2	379
	冬期(12-2月)	183	27	64	6	1	6	1	12	17	0	317
	合計	381	151	168	12	1	28	11	31	71	3	857
ヤングリーグ	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	冬期(12-2月)	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0	5
	合計	1	0	0	0	0	0	0	7	0	0	8
ボーイズ	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	夏期(6-8月)	0	1	0	0	0	0	0	1	2	0	4
	秋期(9-11月)	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	4
	冬期(12-2月)	14	1	0	0	0	1	0	10	67	1	94
	合計	15	3	0	0	0	1	0	12	71	1	103
ポニー	春期(3-5月)	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	5
	夏期(6-8月)	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	秋期(9-11月)	2	3	0	0	0	0	0	4	0	0	9
	冬期(12-2月)	4	0	0	0	0	0	0	6	0	0	10
	合計	11	3	0	0	0	0	0	13	0	0	27

活動時期×活動×団体(回数)③

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計
リトルシニア	春期(3-5月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋期(9-11月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	合計	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
リトル	春期(3-5月)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋期(9-11月)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	冬期(12-2月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
全女連	春期(3-5月)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	夏期(6-8月)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	秋期(9-11月)	6	0	0	4	0	5	1	1	1	0	18
	冬期(12-2月)	3	5	2	3	0	1	0	0	0	5	19
	合計	10	5	2	7	0	6	1	1	1	9	42
大学野球	春期(3-5月)	5	2	0	0	0	0	4	1	0	0	12
	夏期(6-8月)	23	2	1	0	0	4	0	2	0	1	33
	秋期(9-11月)	22	5	0	0	0	2	2	0	0	0	31
	冬期(12-2月)	39	10	0	0	0	0	0	2	1	1	53
	合計	89	19	1	0	0	6	6	5	1	2	129
高野連	春期(3-5月)	6	7	1	0	1	0	1	20	5	2	43
	夏期(6-8月)	34	15	2	1	0	0	9	29	1	33	124
	秋期(9-11月)	89	26	15	8	0	0	0	22	1	16	177
	冬期(12-2月)	145	56	20	18	0	0	0	64	5	9	317
	合計	274	104	38	27	1	0	10	135	12	60	661
全軟連	春期(3-5月)	7	2	0	0	0	2	1	66	5	1	84
	夏期(6-8月)	9	8	0	0	0	0	0	8	3	1	29
	秋期(9-11月)	16	18	1	0	0	3	0	27	8	2	75
	冬期(12-2月)	35	10	0	0	0	2	0	65	12	2	126
	合計	67	38	1	0	0	7	1	166	28	6	314

活動時期×活動×団体(割合)①

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計
NPB	春期(3-5月)	3.3	1.9	4.6	1.3	0.0	0.3	3.3	0.3	1.2	1.1	17.4
	夏期(6-8月)	4.0	3.5	7.1	1.6	1.9	0.7	3.5	1.0	0.6	2.7	26.6
	秋期(9-11月)	5.0	2.3	14.8	1.6	0.4	0.4	1.1	1.5	2.1	1.0	30.3
	冬期(12-2月)	4.2	1.9	8.2	3.9	0.2	0.1	0.0	1.2	5.0	1.0	25.7
	合計	14.0	9.7	34.7	8.4	2.5	1.4	7.9	4.0	8.9	5.8	100.0
独立リーグ	春期(3-5月)	2.5	1.4	2.3	1.4	0.0	0.3	1.0	0.7	6.3	0.4	16.1
	夏期(6-8月)	2.9	0.8	2.6	7.1	0.1	0.3	0.1	0.4	6.5	0.3	21.1
	秋期(9-11月)	7.2	1.1	5.3	3.5	0.0	0.5	0.0	0.8	13.4	0.4	32.3
	冬期(12-2月)	8.9	1.6	3.7	7.9	0.0	0.1	0.0	0.7	7.4	0.1	30.4
	合計	21.4	4.9	13.9	19.9	0.1	1.2	1.1	2.6	33.6	1.2	100.0
女子プロ	春期(3-5月)	10.4	6.1	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	19.1
	夏期(6-8月)	9.6	1.7	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	27.8
	秋期(9-11月)	20.0	0.9	5.2	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	27.8
	冬期(12-2月)	17.4	0.0	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.2
	合計	57.4	8.7	30.4	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	100.0
選手会	春期(3-5月)	1.8	0.0	2.7	0.0	0.0	9.9	0.0	0.0	0.0	0.0	14.4
	夏期(6-8月)	1.8	0.0	8.1	0.0	0.0	12.6	0.0	0.0	0.0	0.0	22.5
	秋期(9-11月)	2.7	1.8	20.7	0.0	0.0	14.4	0.0	0.0	0.0	0.0	39.6
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	2.7	18.0	0.0	0.9	1.8	0.0	0.0	0.0	23.4
	合計	6.3	1.8	34.2	18.0	0.0	37.8	1.8	0.0	0.0	0.0	100.0
OBクラブ	春期(3-5月)	21.0	2.0	6.0	9.0	0.0	13.0	0.0	4.0	0.0	0.0	55.0
	夏期(6-8月)	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0
	秋期(9-11月)	24.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0
	冬期(12-2月)	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0
	合計	66.0	2.0	6.0	9.0	0.0	13.0	0.0	4.0	0.0	0.0	100.0
WCBF	春期(3-5月)	12.4	7.2	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7
	夏期(6-8月)	11.3	2.1	17.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	33.0
	秋期(9-11月)	23.7	1.0	6.2	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	33.0
	冬期(12-2月)	10.3	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.3
	合計	57.7	10.3	27.8	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	100.0
名球会	春期(3-5月)	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
	夏期(6-8月)	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	35.3
	秋期(9-11月)	23.5	11.8	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	41.2
	冬期(12-2月)	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
	合計	58.8	23.5	5.9	0.0	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

活動時期×活動×団体(割合)②

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計
BFJ	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	69.6	0.0	0.0	69.6
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	21.7	0.0	0.0	26.1
	合計	0.0	0.0	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	91.3	0.0	0.0	100.0
JABA	春期(3-5月)	2.1	1.3	0.1	0.1	0.0	0.1	0.6	1.4	0.7	0.0	6.4
	夏期(6-8月)	6.8	1.8	0.2	0.0	0.0	0.7	0.2	0.0	2.6	0.1	12.4
	秋期(9-11月)	14.2	11.4	11.8	0.6	0.0	1.8	0.4	0.8	3.0	0.2	44.2
	冬期(12-2月)	21.4	3.2	7.5	0.7	0.1	0.7	0.1	1.4	2.0	0.0	37.0
	合計	44.5	17.6	19.6	1.4	0.1	3.3	1.3	3.6	8.3	0.4	100.0
ヤングリーグ	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	37.5
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	冬期(12-2月)	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	62.5
	合計	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	87.5	0.0	0.0	100.0
ボーイズ	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	1.0
	夏期(6-8月)	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.9	0.0	3.9
	秋期(9-11月)	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	3.9
	冬期(12-2月)	13.6	1.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	9.7	65.0	1.0	91.3
	合計	14.6	2.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	11.7	68.9	1.0	100.0
ポニー	春期(3-5月)	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	18.5
	夏期(6-8月)	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
	秋期(9-11月)	7.4	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	0.0	33.3
	冬期(12-2月)	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	0.0	37.0
	合計	40.7	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	48.1	0.0	0.0	100.0

活動時期×活動×団体(割合)③

団体	季節	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業研究会	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献 活動	その他(I)	合計
リトルシニア	春期(3-5月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	秋期(9-11月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	合計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
リトル	春期(3-5月)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	秋期(9-11月)	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	冬期(12-2月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	合計	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全女連	春期(3-5月)	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.8
	夏期(6-8月)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1
	秋期(9-11月)	14.3	0.0	0.0	9.5	0.0	11.9	2.4	2.4	2.4	0.0	42.9
	冬期(12-2月)	7.1	11.9	4.8	7.1	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	11.9	45.2
	合計	23.8	11.9	4.8	16.7	0.0	14.3	2.4	2.4	2.4	21.4	100.0
大学野球	春期(3-5月)	3.9	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	0.8	0.0	0.0	9.3
	夏期(6-8月)	17.8	1.6	0.8	0.0	0.0	3.1	0.0	1.6	0.0	0.8	25.6
	秋期(9-11月)	17.1	3.9	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	0.0	0.0	24.0
	冬期(12-2月)	30.2	7.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.8	0.8	41.1
	合計	69.0	14.7	0.8	0.0	0.0	4.7	4.7	3.9	0.8	1.6	100.0
高野連	春期(3-5月)	0.9	1.1	0.2	0.0	0.2	0.0	0.2	3.0	0.8	0.3	6.5
	夏期(6-8月)	5.1	2.3	0.3	0.2	0.0	0.0	1.4	4.4	0.2	5.0	18.8
	秋期(9-11月)	13.5	3.9	2.3	1.2	0.0	0.0	0.0	3.3	0.2	2.4	26.8
	冬期(12-2月)	21.9	8.5	3.0	2.7	0.0	0.0	0.0	9.7	0.8	1.4	48.0
	合計	41.5	15.7	5.7	4.1	0.2	0.0	1.5	20.4	1.8	9.1	100.0
全軟連	春期(3-5月)	2.2	0.6	0.0	0.0	0.0	0.6	0.3	21.0	1.6	0.3	26.8
	夏期(6-8月)	2.9	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	1.0	0.3	9.2
	秋期(9-11月)	5.1	5.7	0.3	0.0	0.0	1.0	0.0	8.6	2.5	0.6	23.9
	冬期(12-2月)	11.1	3.2	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	20.7	3.8	0.6	40.1
	合計	21.3	12.1	0.3	0.0	0.0	2.2	0.3	52.9	8.9	1.9	100.0

訪問活動のみ(対象者×団体)

【回数】

対象	NPB	独立リーグ	女子プロ	選手会	OBクラブ	WCBF	名球会	BFJ	JABA	ヤングリーグ	ボーイズ	ポニー	リトルシニア	リトル	全女連	大学野球	高野連	全軟連	合計
幼児	360	71	3	6	0	0	0	0	161	0	0	0	0	0	0	0	38	2	641
小学生	739	136	1	52	15	0	1	1	21	0	0	0	0	0	4	3	29	0	1,002
中学生	11	13	1	0	2	0	1	1	5	0	0	0	0	0	1	0	10	0	45
高校生	4	1	0	0	0	0	1	1	6	0	0	0	0	0	1	0	44	0	58
大学生	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
成人	15	23	1	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	10	0	67
合計	1,129	244	7	72	17	0	3	5	195	0	0	0	0	0	9	3	131	2	1,817

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。

【人数】

対象	NPB	独立リーグ	女子プロ	選手会	OBクラブ	WCBF	名球会	BFJ	JABA	ヤングリーグ	ボーイズ	ポニー	リトルシニア	リトル	全女連	大学野球	高野連	全軟連	合計
幼児	38,540	2,630	66	500	0	0	0	0	6,170	0	0	0	0	0	0	0	1,183	311	49,400
小学生	63,178	17,550	7,440	4,282	2,407	0	40	50	2,321	0	0	0	0	0	380	230	1,340	0	99,218
中学生	1,197	831	20	0	69	0	20	10	80	0	0	0	0	0	50	0	130	0	2,407
高校生	183	20	0	0	0	0	10	10	77	0	0	0	0	0	4	0	879	0	1,183
大学生	0	0	30	0	0	0	0	10	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80
成人	584	985	50	894	0	0	0	11	1,083	0	0	0	0	0	280	0	76	0	3,963
合計	103,682	22,016	7,606	5,676	2,476	0	70	91	9,771	0	0	0	0	0	714	230	3,608	311	156,251

※不特定の人数(9,695人)を除く

「訪問活動」について対象者別及び団体別に事業回数と参加人数を分析すると、回数及び人数ともにNPBが最も多く、全体の約65%を占めている。その対象は、ほぼ幼児と小学生となっている。独立リーグも同様の傾向がみられる。参加人数をみると、2018年では、幼児と小学生の参加人数の差が少なかったが、2020年では幼児の人数が減少し、小学生の人数が増加したことによってその差が広がった。

地域貢献活動のみ

団体	回数
NPB	238
独立リーグ	246
女子プロ	3
名球会	1
JABA	72
ボーイズ	71
全女連	2
大学野球	1
高野連	17
全軟連	31
合計	682

都道府県	回数
北海道	6
青森県	2
岩手県	8
宮城県	4
秋田県	4
山形県	3
福島県	2
茨城県	6
栃木県	9
群馬県	2
埼玉県	3
千葉県	27

都道府県	回数
東京都	51
神奈川県	19
新潟県	5
石川県	11
福井県	1
山梨県	1
長野県	14
岐阜県	2
静岡県	19
愛知県	21
三重県	1
滋賀県	11

都道府県	回数
京都府	4
大阪府	24
兵庫県	17
奈良県	2
和歌山県	4
鳥取県	1
岡山県	11
広島県	118
山口県	8
徳島県	53
香川県	23
愛媛県	82

都道府県	回数
高知県	61
福岡県	4
熊本県	4
宮崎県	8
鹿児島県	3
沖縄県	2
東北	1
北陸	1
北九州	1
西九州	1
中九州	1
山陰	1
合計	667

※都道府県(活動なし):富山県、島根県、佐賀県、長崎県、大分県 不明:15回

季節	回数
春期(3-5月)	93
夏期(6-8月)	95
秋期(9-11月)	195
冬期(12-2月)	288
合計	671

※季節不明(11回)を除く

「地域貢献活動」について、団体別・季節別・都道府県別の回数を見てみると、全体で682回の事業が行われ、独立リーグが246回で最も多く、次いでNPB238回、JABA72回、ボーイズ71回であった。季節では、冬期(12-2月)の事業が最も多く、春期(3-5月)が最も少ない。都道府県別にみると、広島県が118回と最も多く、次いで愛媛県82回、高知県61回、徳島県53回、東京都51回であった。一方で、地域貢献活動が行われていない都道府県が5県あった。

障がい者及び高齢者のための活動

【障がい者】

活動数	38		人数	9,581			
団体	NPB	独立リーグ	JABA	ポニー	高野連		
	5	8	15	6	2		
活動内容	野球教室	体験活動	訪問活動 (野球体験)	訪問活動 (その他交流活動)	授業 研究会		
	0	18	6	3	0		
	大会開催	観戦招待	講習会	地域貢献活動	その他(I)		
	2	2	1	4	2		
季節	春期 (3-5月)	夏期 (6-8月)	秋期 (9-11月)	冬期 (12-2月)			
	2	8	12	16			
都道府県	北海道	岩手県	宮城県	埼玉県	東京都	長野県	広島県
	4	2	2	2	6	5	1
	滋賀県	京都府	兵庫県	愛媛県	福岡県	宮崎県	
	7	2	2	2	1	2	

【高齢者】

活動数	25		人数	864	
団体	NPB	独立リーグ	JABA		
	16	6	3		
活動内容	訪問活動 (その他交流活動)	地域貢献 活動			
	22	3			
季節	春期 (3-5月)	夏期 (6-8月)	秋期 (9-11月)	冬期 (12-2月)	
	3	9	5	8	
都道府県	岩手県	埼玉県	大阪府	広島県	
	1	14	1	1	
	愛媛県	和歌山県	高知県		
	6	1	1		

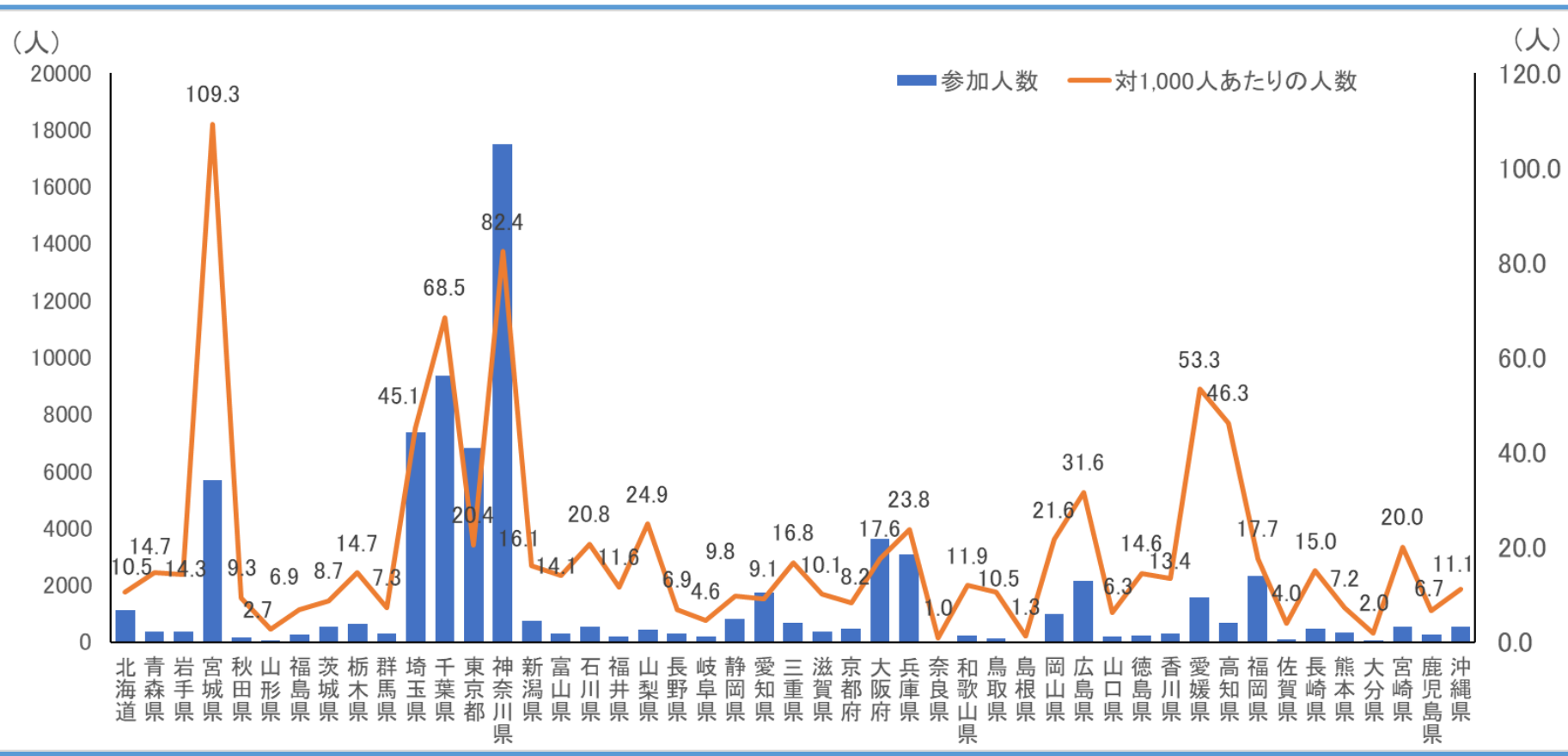
障がい者に対する事業は、38回行われており、参加人数は9,581人であった。事業実施主体はJABAが15回と最も多く、次いで独立リーグ(8回)、ポニー(6回)、NPB(5回)の順であった。活動内容は「体験活動」(18回)、「訪問活動(野球体験)」(6回)が中心であった。活動時期は2018年調査と異なり、冬期の活動が最も多かった。事業が実施された都道府県は12都道府県で、2018年調査から、神奈川県、群馬県、徳島県及び高知県の事業がなくなり、新たに北海道、岩手県、宮城県、滋賀県、兵庫県及び宮崎県で事業が行われた。

高齢者を対象とする事業は、25回行われており、参加人数は864人であった。事業実施主体は、NPBが16回と最も多く、次いで独立リーグ(6回)、JABA(3回)の順であった。活動時期は、夏期(6-8月)が最も多く9回、次いで冬期(12-2月)が8回であった。事業が実施された都道府県は、埼玉県が最も多く14回であった。しかし、2018年と比較すると、事業が実施された都道府県の数8県から7県に減少し、継続して事業を実施した県は、愛媛県、埼玉県及び高知県、広島県の4県にとどまっている。障がい者及び高齢者のための事業を継続的に行っている都道府県は少ない。

参考:都道府県×子どもへのリーチ率(3~5歳)

リーチ率

実際に行った野球普及振興活動が当該地域に在住する子どもに対してどの程度届いたかを測る指標。当該都道府県の3歳から5歳の子ども1,000人あたりに対する活動への参加人数を分析。

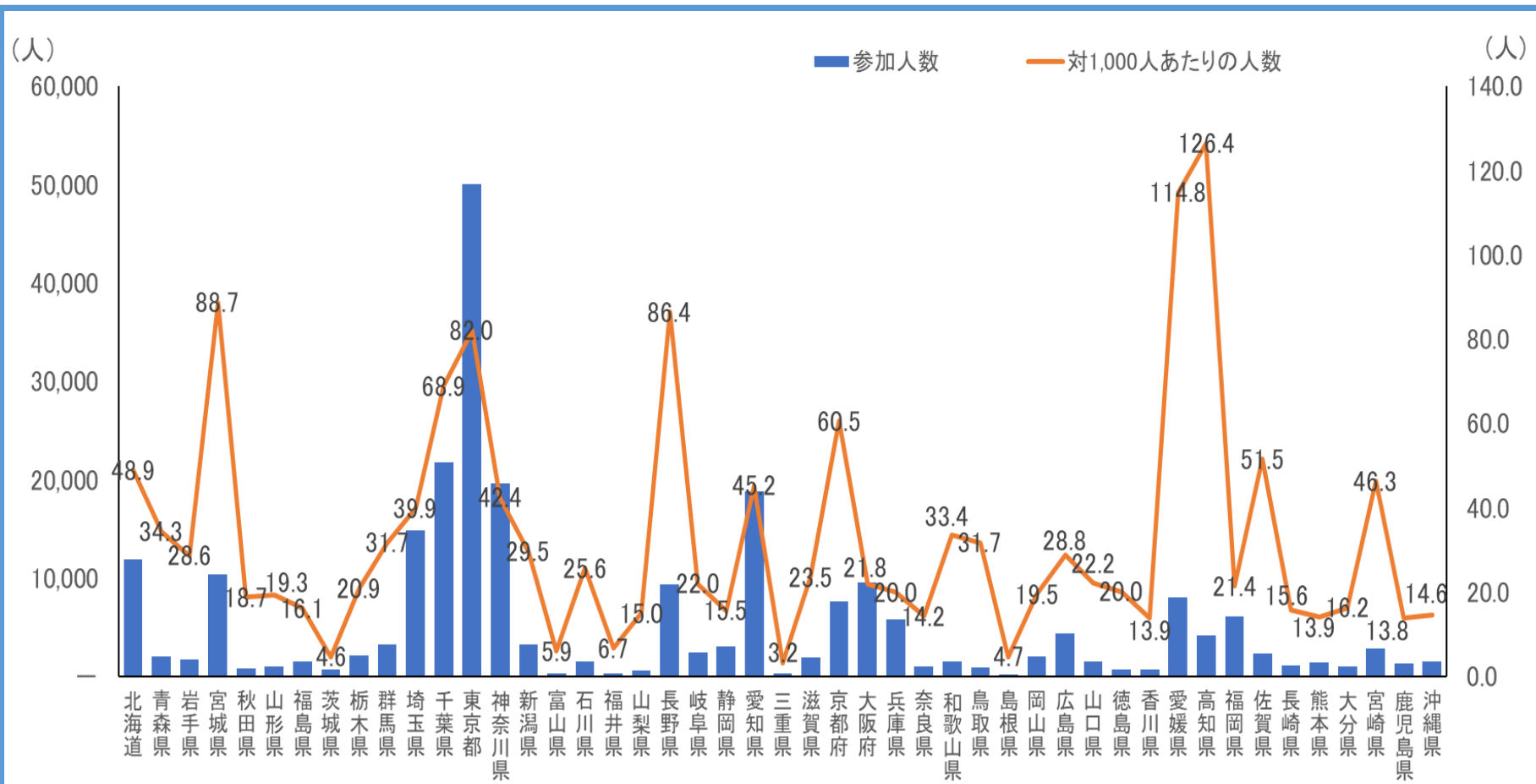


3~5歳の子どもに対するリーチ率を図るために、2015年から2017年に当該都道府県にて出生した子の数の合計(292万8,551人)を3~5歳の人口とみなして分析した¹⁾。3~5歳の子ども1,000人あたりに対する参加人数をみると、宮城県が109.3人と最も多く、次いで神奈川県82.4人、千葉県68.5人、愛媛県53.3人、高知県46.3人とNPB球団や独立リーグのある都道府県が高い数値を示した。リーチ率が最も低いのは、奈良県の1.0人であった。

注: 宮城県は、NPBによる幼児に対する「訪問活動(その他交流活動)」の「フレンドシップジャーニー」事業(57回、計4,913人)が数値を引き上げている。

1)本報告書では、当該年の出生数を3~5歳の人口としたため、転入出等の事象による増減があることに注意する必要がある。

参考:都道府県×子どもへのリーチ率(小学生)

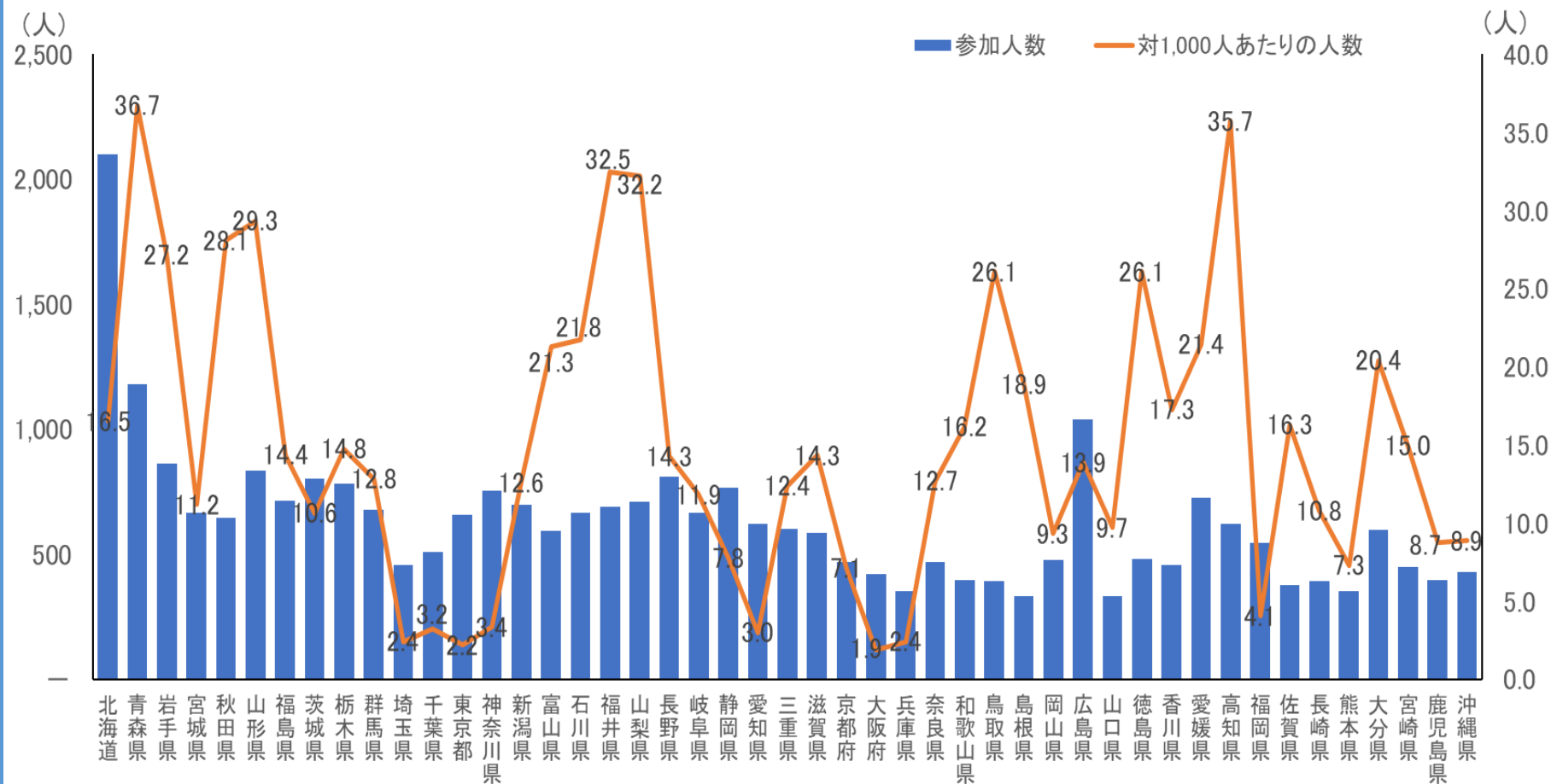


小学生を対象とした事業をみると、参加人数では、東京都、千葉県、神奈川県、愛知県、埼玉県、北海道が多く、NPB球団のある地域が上位となっている。他方、小学生1,000人あたりに対する参加人数をみると、高知県126.4人、愛媛県114.8人、宮城県88.7人、長野県86.4人、東京都82.0人、千葉県68.9人、京都府60.5人の順となっている。独立リーグまたはNPBの球団がある地域が上位となっている。

注:高知県は、「訪問活動(その他交流活動)」の「佐川小挨拶運動」事業(14回、計2,800人)が数値を引き上げている。

注:愛媛県は、NPBによる「観戦招待」の「地方試合時小学生招待」事業(5,400人)が数値を引き上げている。

参考：都道府県×子どもへのリーチ率(中学生)



中学生を対象とした事業をみると、参加人数では、北海道、青森県、広島県、岩手県、山形県、長野県が多い。他方、中学生1,000人あたりに対する参加人数をみると、青森県36.7人、高知県35.7人、福井県32.5人、山梨県32.2人、山形県29.3人の順となっている。また、1,000人あたりのリーチ率は、幼児及び小学生に比べて中学生は概ね低い傾向にある。

調査票Ⅱ

＝特定人物に対して一定期間繰り返し行われる事業(参加者の継続性あり)＝

団体×活動(回数&人数)

【回数】

団体	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
NPB	146	1	147
独立リーグ	5	0	5
女子プロ	6	0	6
OBクラブ	1	0	1
JABA	15	15	30
リトル	10	1	11
全女連	0	1	1
大学野球	1	0	1
高野連	0	1	1
全軟連	0	1	1
合計	184	20	204

【人数】

団体	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
NPB	12,980	56	13,036
独立リーグ	139	0	139
女子プロ	85	0	85
OBクラブ	25	0	25
JABA	892	2,075	2,967
リトル	0	160	160
全女連	0	15	15
大学野球	0	30	30
高野連	120	0	120
全軟連	738	35	773
合計	14,979	2,371	17,350

特定の人口に対して継続的に行った事業をみると、野球界全体で204の活動が行われ、1万7,350人が参加した。事業回数をみると、NPBが147回と最も多く、全体の72.0%を占めている。次いでJABAの30回となっている。活動では、NPBの「スクール事業」が146回と全体の71.5%を占めている。参加人数をみると、事業回数は2018年調査よりも減少したものの、参加人数は1万3,361人から1万7,350人に増加した。特に2018年に比べてNPB、JABA及び全軟連で参加人数が増加したが、独立リーグ、女子プロ、大学野球及び高野連で参加人数が減少している。

また、スクール事業は、NPBが1万2,980人と最も多く、その他(Ⅱ)は、JABAが2,075人と最も多い。スクール事業及びその他の参加者の継続性がある事業は、NPBとJABAが中心な活動を行っている。

その他(Ⅱ)の活動内容としては、大学が行う中学生の競技練習補助、大会等への審判の派遣、練習会等が挙げられる。

都道府県×活動(回数)

都道府県	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
福岡県	31	1	32
千葉県	21	3	24
神奈川県	20	0	20
北海道	11	0	11
埼玉県	9	2	11
佐賀県	9	0	9
京都府	3	5	8
広島県	6	1	7
愛知県	6	0	6
大分県	6	0	6
宮城県	5	0	5
山形県	5	0	5
福島県	4	1	5
静岡県	4	1	5
青森県	4	0	4
秋田県	3	1	4
栃木県	3	1	4
東京都	3	1	4
新潟県	2	1	3
兵庫県	3	0	3
岡山県	1	2	3
山口県	3	0	3
宮崎県	3	0	3
茨城県	2	0	2
石川県	2	0	2
長野県	2	0	2
三重県	2	0	2
滋賀県	2	0	2
岩手県	1	0	1
群馬県	1	0	1
岐阜県	1	0	1
大阪府	1	0	1
奈良県	1	0	1
和歌山県	1	0	1
高知県	1	0	1
熊本県	1	0	1
北九州	1	0	1
合計	184	20	204

都道府県×活動(人数)

都道府県	スクール事業	その他(Ⅱ)	合計
東京都	2,175	30	2,205
千葉県	1,722	246	1,968
神奈川県	1,853	0	1,853
京都府	54	1,600	1,654
埼玉県	1,382	35	1,417
兵庫県	1,170	0	1,170
福岡県	998	30	1,028
宮城県	897	0	897
山形県	652	0	652
北海道	599	0	599
静岡県	463	35	498
栃木県	463	20	483
秋田県	108	266	374
福島県	280	25	305
愛知県	285	0	285
茨城県	256	0	256
大阪府	208	0	208
群馬県	200	0	200
佐賀県	191	0	191
広島県	111	29	140
新潟県	118	15	133
滋賀県	129	0	129
大分県	109	0	109
青森県	106	0	106
石川県	92	0	92
山口県	70	0	70
岡山県	27	40	67
岐阜県	57	0	57
三重県	37	0	37
宮崎県	34	0	34
岩手県	25	0	25
和歌山県	25	0	25
北九州	25	0	25
奈良県	24	0	24
長野県	17	0	17
熊本県	16	0	16
高知県	1	0	1
合計	14,979	2,371	17,350

※活動なし: 富山県、福井県、山梨県、鳥取県、島根県、徳島県、香川県、愛媛県、長崎県、鹿児島県、沖縄県

都道府県別にみると、事業回数は、福岡県32回、千葉県24回、神奈川県20回の順で多い。参加人数は、スクール事業では東京都2,175人、神奈川県1,853人、千葉県1,722人、埼玉県1,382人、兵庫県1,170人の順に多い。その他(Ⅱ)では、京都府が1,600人と著しく多く、次いで秋田県266人、千葉県246人となっている。また、11の県で参加者の継続性があり一定期間繰り返し行われる事業は行われていない。

団体×対象(回数&人数) (特定人物に対して一定期間繰り返し行われる活動について実施回数、参加人数の観点から分析)

【回数】

団体	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	成人	合計
NPB	76	141	54	11	3	4	289
独立リーグ	0	5	3	0	0	0	8
女子プロ	0	6	0	0	0	0	6
OBクラブ	0	0	1	0	0	0	1
JABA	1	7	20	2	5	4	39
リトル	0	0	0	0	0	1	1
全女連	0	0	0	0	2	1	3
大学野球	0	0	1	0	1	1	3
高野連	0	1	0	1	0	1	3
全軟連	0	3	6	0	0	3	12
合計	77	163	85	14	11	15	365

※複数の対象で実施する活動があるため、延べ数となる。

【人数】

団体	幼児	小学生	中学生	高校生	大学生	成人	合計
NPB	1696	10,078	808	146	23	285	13,036
独立リーグ	0	128	11	0	0	0	139
女子プロ	0	85	0	0	0	0	85
OBクラブ	0	0	25	0	0	0	25
JABA	7	276	1,012	35	1,100	537	2,967
リトル	0	0	0	0	0	160	160
全女連	0	0	0	0	2	13	15
大学野球	0	0	25	0	2	3	30
高野連	0	30	0	50	0	40	120
全軟連	0	152	455	0	0	166	773
合計	1,703	10,749	2,336	231	1,127	1,204	17,350

各団体の事業を対象者別にみると、事業回数では、NPBが289回と最も多く、次いでJABA39回、全軟連12回であった。プロ球団の対象は、いずれも小学生が最も多く、JABAの対象は、中学生が多かった。参加人数では、NPBが1万3,036人と最も多く、次いでJABA2,967人、全軟連773人であった。NPBの対象は小学生が最も多く、JABAの対象は、中学生と大学生が多く、全軟連の対象は中学生が多かった。全体では、小学生を対象とした事業回数及び参加人数の合計が最も多かった。

その他(特記事項)

◆ 団体別傾向・特記事項

統括団体	調査票	傾向・特記事項
NPB	I	最も多くの回数の普及振興活動を行っている。特に「訪問活動(野球体験)」の事業回数の割合が大きく、「観戦招待」の参加者数が多い。また、小学生または成人を対象とした事業が多い。
独立リーグ	I	「地域貢献活動」の事業回数の割合が大きく、「観戦招待」の参加者数が多い。
女子プロ	I	「野球教室」の事業回数の割合及び参加者数が多い。
選手会・OBクラブ	I	小学生に対して「訪問活動」を中心に事業を行っている。
JABA	I・II	継続性のない事業は、主に企業チームによるものであり、継続性のある事業は、主にクラブチームによるものである。
高野連	I	「野球教室」の事業回数の割合及び参加者数が多い。
全軟連	I	静岡県、宮崎県、栃木県などの都道府県連盟が「講習会」を多く行っている。

◆ 特徴的な事業

統括団体	調査票	傾向・特記事項
NPB	I	「訪問活動(野球体験)」千葉県各市教育委員会と連携してのベースボールチャレンジという活動を行っている。
NPB	II	「スクール事業」NPBが行うスクール事業には、野球だけでなく、ダンスやチアダンスのスクールも含まれている。
独立リーグ	I	「訪問活動(その他交流活動)」地元の小学校を訪問し、挨拶運動や授業に参加し交流している。
女子プロ	I	「野球教室」のほかティーボール教室や児童館や小学校の投力向上教室を「訪問活動(野球体験)」として行っている。
JABA	I	「体験活動」簡易型ベースボール競技(ティーボール)の普及活動を行っている。
小・中硬式野球	I	「講習会」子どもの将来を見据えたけが防止事業や講習会が実施されている。
ボーイズ	I	「地域貢献活動」全国一斉ボランティア事業を行っている。
高野連	I	「野球教室」高校が主導となって行う幼児・小学生向け野球教室が充実している。
全軟連	I	「体験活動」簡易型ベースボール競技(Baseball5及びティーボール)の普及活動を行っている。

※小・中硬式野球:ボーイズ、ポニー、ヤングリーグ、リトル、リトルシニア

◆ その他

高齢者や障がい者だけでなく、女性や初心者などを対象にした事業が行われるようになってきている。

NPBや独立リーグ、JABA、全軟連など多くの統括団体が「地域貢献活動」や「訪問活動」として東日本大震災や平成29年7月九州北部豪雨災害、熊本・大分地震災害、台風19号被災地支援活動等に対する被災地支援を行っている。

まとめ

- 【A】 野球の普及振興活動は、全体としては、2016年及び2018年と比較して2020年の方が参加人数も事業回数も増加している。特に「野球教室」、「訪問活動(野球体験)」及び「観戦招待」の参加人数と回数が増加している。
- 【B】 野球の普及振興活動は、参加者の継続性がない活動(調査票Ⅰの事業)がほとんどであり、それに比べて参加者の継続性がある活動(調査票Ⅱの事業)は極めて少ない。
- 【C】 プロ球団が「訪問活動」、「野球教室」、「観戦招待」などを行うことによって、当該球団がある都道府県の事業回数が増える傾向があり、数値の地域差の要因となっている。
- 【D】 各都道府県の幼児、小学生及び中学生のリーチ率をみると、独立リーグがある都道府県などで地方においても子どもへのリーチ率が高い所がある。
- 【E】 参加者の継続性のある活動は、NPB球団の「スクール事業」とJABAのクラブチームによる「その他(Ⅱ)」の事業が多い。



今後の野球普及振興活動のための方策

- 子どもや未経験者が野球を継続的に行うことを促進する普及振興活動の促進
- 野球関係団体へ登録して野球を行なう者の増加の促進
- 野球の普及振興活動の単純な量的促進から質的、持続的な普及方策への転換